成二十三年三月三十一日現在の財政状況を次のとおり公表します。 公営企業法(昭和二十七年法律第二百九十二号)第四十条の二第一項の規定により、平 財政状況の公表に関する条例(昭和二十三年四月奈良県条例第九号)第二条及び地方

平成二十三年六月一日

奈良県知事 荒 井 正 吾

# I 平成23年度の予算について

#### 1 予算の基本方針

#### (1) 国の予算と地方財政計画

国の平成23年度予算は、我が国経済が依然として厳しい状況にあるとの認識のもと、「中期 財政フレーム」に基づき財政規律を堅持しつつ、「新成長戦略」及び民主党マニフェスト工程 表の主要事項を着実に実施する「元気な日本復活予算」として編成されました。

地方財政計画では、極めて厳しい地方財政の現状及び現下の経済情勢等を踏まえ、地方の一般財源総額について、実質的に22年度の水準を下回らないよう確保されました。その主な内訳は、地方税が22年度を0.9兆円上回る33.4兆円、地方交付税と臨時財政対策債をあわせた実質的な地方交付税が、22年度を1.1兆円下回る23.5兆円となっています。

### (2) 県の予算

県税収入の動向は、もともと大企業が少ないぜい弱な税源構造のもと、法人関係税が伸び悩む一方で、大阪等に通勤している団塊世代の退職者の増加等により個人所得が低下し、個人県 民税が大きく落ち込むなど、相変わらず厳しい状況にあります。

このような状況にあればこそ、直面する喫緊の諸課題への的確な対応に加え、奈良のより良き未来を創るため、将来に向けて新たな芽を出すようなチャレンジが必要です。

このため、平成23年度予算では、引き続き「経済活性化」と「くらしの向上」を2本柱として、①「地域産業の支援・創出」、②「観光の振興」、③「県内消費の拡大と雇用対策」、④「農林業の振興」、⑤「健康づくりの推進」、⑥「医療の充実」、⑦「福祉の充実」、⑧「学びの支援」、⑨「安全・安心の確保」、⑩「景観・環境の保全とくらしやすいまちづくり」の10項目の政策課題及び「中南和・東部地域の振興」に重点的に取り組むこととしました。また、これらを支えるため、「効率的・効果的な基盤整備」、「協働の推進及び市町村の支援」、「組織力の向上と財政の健全化」を併せて進めます。

なお、4月に実施された知事選挙及び県議会議員選挙を念頭に置き、新たに判断を要する事業や公共事業の新規箇所等については当初予算に計上しない方針としましたが、新規性のある施策等であっても、県行政の継続性や県民生活の安定を考慮し、既に方向性を定め準備を進めてきたものや、年度初めからの取組が必要なもの、さらに、市町村、関係団体との関係から不都合が生じないよう考慮すべきものについては、当初予算に計上しました。

以上のような考えをもとに編成した、23年度の一般会計の総予算規模は、4,577億1,100万円、22年度当初予算に対し1.6%の減となりました。一般会計、特別会計及び企業会計の15会計を合計すると、6,474億9,200万円になります。

また、これまでの国の経済対策補正予算により造成した基金を財源として有効活用したこと や、職員定数の削減、歳出事業の無駄の排除など、財政健全化に努めた結果、財政調整基金、 県債管理基金の取り崩しは3年連続して行いませんでした。

	平成23年度	平成22年度	比	較
区分	当 初 予 算	当 初 予 算	増 減 額	増減率%
一般会計	457, 711	465, 318	$\triangle 7,607$	△1.6
特別会計	145, 596	143, 114	2, 482	1.7
企業会計	44, 185	43, 700	485	1. 1
合 計	647, 492	652, 132	△4, 640	△0.7
純 計	552, 603	557, 536	△4, 933	△0.9

# 2 一般会計予算の状況

# (1) 予算規模

平成23年度の一般会計の総予算規模は、第 1 表のとおり4,577億1,100万円であり、また、規模の推移は第 2 表のとおりです。

# 第1表 平成23年度一般会計総予算規模

(単位:百万円)

Is	<del>, ,</del>	/\	亚比99年库	亚己00年库	比	較
<u> </u>	<u> </u>	分	平成23年度	平成22年度	増減額	増減率
Ξ.	予	算 規 模	457, 711	465, 318	△ 7,607	% △ 1.6
	1	県 税	101, 300	100, 600	700	0. 7
歳	2	地方交付税	142, 800	133, 800	9, 000	6. 7
入	3	県 債	73, 504	91, 145	△ 17, 641	△ 19.4
	4	その他	140, 107	139, 773	334	0. 2
	1	人件費	165, 013	167, 227	△ 2, 214	△ 1.3
歳出	2	公債費	76, 870	74, 884	1, 986	2. 7
	3	一般歳出	215, 828	223, 207	△ 7, 379	△ 3.3
(	参表	考)	億円	億円	億円	%
	国0	つ一般会計	924, 116	922, 992	1, 124	0. 1
	地力	方財政計画	825, 054	821, 268	3, 786	0. 5

第2表 当初予算(一般会計)規模の推移

年度	県 予	算	地方財政	計画	国の予	<sup>5</sup> 算
干及	一般会計	対前年度	歳 入 歳 出	対前年度	一般会計	対前年度
	当初予算額	増減率	総額見込額	増減率	当初予算額	増減率
平成	百万円	%	億円	%	億円	%
13	580, 460	0. 1	893, 071	0. 4	826, 524	$\triangle 2.7$
14	543, 156	△6. 4	875, 666	△1.9	812, 300	△1.7
15	516, 243 (528, 956)	△2. 6	862, 107	△1.5	817, 891	0. 7
16	498, 628	△3. 4	846, 669	△1.8	821, 109	0.4
17	479, 030	△3. 9	837, 687	△1.1	821, 829	0. 1
18	461, 933	△3. 6	831, 508	△0.7	796, 860	△3.0
19	462, 233	0. 1	831, 261	△0.0	829, 088	4. 0
20	458, 937	△0.7	834, 014	0.3	830, 613	0.2
21	462, 036	0.7	825, 557	△1.0	885, 480	6.6
22	465, 318	0.7	821, 268	△0.5	922, 992	4. 2
23	457, 711	△1.6	825, 054	0.5	924, 116	0. 1

- (注)1 ( )及び平成13年度から平成14年度までの県予算額は、借換債を含めた額である。
  - 2 平成15年度県予算対前年度伸率は、借換債を含めた予算額で比較した率である。
  - 3 平成19年度県予算額は、6月補正後の額である。

## (2) 歳入予算の状況

平成23年度歳入予算は、第3表、第1図のとおりですが、県税、地方交付税等その使途が特定されない「一般財源」と、国庫支出金、県債等その使途が特定されている「特定財源」とに区分すると、「一般財源」は73.9%となっています。

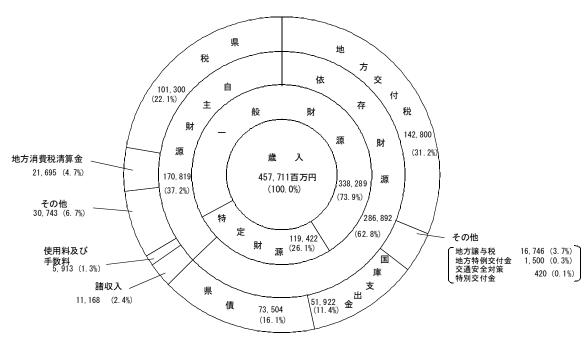
また、県税等県が自主的に調達できる「自主財源」と、地方交付税、国庫支出金、県債等その調達を国などに依存する「依存財源」とに区分すると、「自主財源」は全体の37.2%となっています。

# 第3表 平成23年度一般会計予算 (歳入)

(単位:千円、%)

	\ <u>\</u>		$\wedge$	平成 23 年	平 度	平成 22 年	平 度	比	較
	区		分	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比	増減額	増減率
1	県		税	101, 300, 000	22. 1	100, 600, 000	21. 6	700, 000	0. 7
2	地力	7消費税剂	青算金	21, 695, 000	4. 7	20, 462, 000	4. 4	1, 233, 000	6. 0
3	地	方譲	与 税	16, 746, 000	3. 7	14, 050, 000	3. 0	2, 696, 000	19. 2
4	地	方特例交	で付金	1, 500, 000	0.3	1,600,000	0.3	△ 100,000	△ 6.3
5	地	方 交	付 税	142, 800, 000	31. 2	133, 800, 000	28. 7	9, 000, 000	6. 7
6		通安全 別 交		420, 000	0. 1	420, 000	0. 1	0	0.0
7	分担	1金及び負	負担金	818, 734	0. 2	1, 234, 363	0.3	△ 415, 629	△ 33.7
8	使月	料及び	手数料	5, 913, 287	1. 3	6, 041, 568	1. 3	△ 128, 281	△ 2.1
9	国	庫 支	出金	51, 922, 312	11. 4	59, 626, 030	12.8	△ 7, 703, 718	△ 12.9
10	財	産収	ス 入	1, 959, 744	0.4	1, 721, 103	0. 4	238, 641	13. 9
11	寄	附	金	12, 100	0.0	815, 100	0. 2	△ 803,000	△ 98.5
12	繰	入	金	27, 452, 199	6. 0	20, 902, 344	4. 5	6, 549, 855	31. 3
13	繰	越	金	500, 000	0. 1	500, 000	0. 1	0	0.0
14	諸	収	入	11, 167, 724	2. 4	12, 400, 692	2. 7	△ 1, 232, 968	△ 9.9
15	県		債	73, 503, 900	16. 1	91, 144, 800	19. 6	△ 17, 640, 900	△ 19.4
<u></u>	<u>}</u>		計	457, 711, 000	100.0	465, 318, 000	100.0	△ 7,607,000	△ 1.6

第1図 歳入予算の構成比



歳入予算の主な内容は次のとおりです。

# ① 県 税

平成23年度の県税の予算額は1,013億円、前年度に比べて7億円(0.7%)の増であり、法人県民税・法人事業税は前年度を上回るものの、個人所得の減少等により個人県民税が減収となるなど、全体として前年度に比べ微増にとどまる見込みとなっています。

県税の税目別内訳、県税の推移及び県民一人当たりの県税負担額の推移は、第4表、第2 図及び第3図のとおりです。

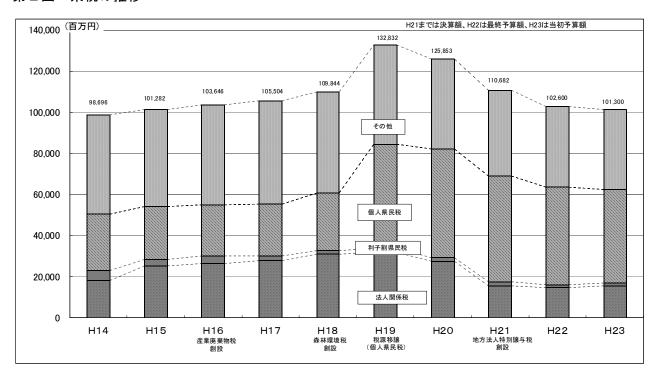
### 第4表 県税の税目別内訳

(単位:千円、%)

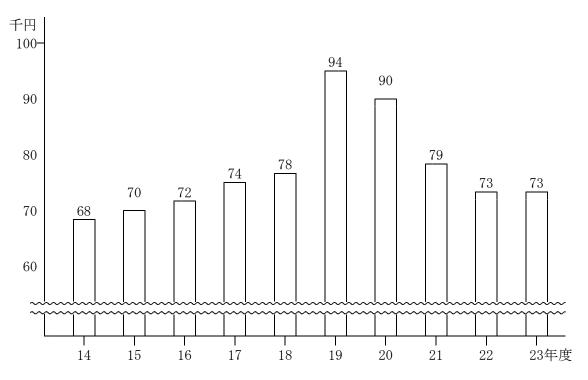
	ы Л	平成23年度	平成22年度	比	較
	区 分	予 算 額	予 算 額	増 減 額	増減率
1	県 民 税	52, 298, 000	53, 593, 000	△ 1, 295, 000	△ 2.4
	法人県民税	3, 977, 000	2, 930, 000	1, 047, 000	35. 7
	(うち森林環境税)	54, 000	51, 000	3,000	5. 9
	個人県民税	45, 638, 000	47, 967, 000	△ 2,329,000	△ 4.9
	(うち森林環境税)	295, 000	279, 000	16, 000	5. 7
	利子割県民税	1, 242, 000	1, 381, 000	△ 139,000	△ 10.1
	配当割県民税	1, 077, 000	924, 000	153, 000	16.6
	株式等譲渡所得割県民税	364, 000	391, 000	△ 27,000	△ 6.9
2	事 業 税	12, 754, 000	10, 157, 000	2, 597, 000	25.6
	法人事業税	11, 671, 000	9, 056, 000	2, 615, 000	28.9
	個人事業税	1, 083, 000	1, 101, 000	△ 18,000	$\triangle$ 1.6
3	地方消費税	7, 574, 000	7, 988, 000	△ 414,000	$\triangle$ 5. 2
4	不動産取得税	2, 167, 000	1, 702, 000	465, 000	27. 3
5	た ば こ 税	2, 070, 000	2, 084, 000	△ 14,000	△ 0.7
6	ゴルフ場利用税	953, 000	1, 024, 000	△ 71,000	△ 6.9
7	自動車取得税	1, 605, 000	2, 151, 000	△ 546, 000	△ 25.4
8	軽油 引取税	5, 470, 000	5, 439, 000	31,000	0.6
9	自 動 車 税	16, 241, 000	16, 306, 000	△ 65,000	$\triangle$ 0.4
10	鉱 区 税	1, 000	1,000	0	0.0
11	狩 猟 税	19, 000	20, 000	△ 1,000	△ 5.0
12	産業廃棄物税	127, 000	113, 000	14, 000	12. 4
13	旧法による税	21, 000	22, 000	△ 1,000	$\triangle$ 4.5
,	合 計	101, 300, 000	100, 600, 000	700, 000	0.7

(注) 旧法による税は、平成20年度までの「軽油引取税」及び「特別地方消費税」です。

## 第2図 県税の推移



# 第3図 県民一人当たり県税負担額の推移



- (注)・平成14年度~平成21年度までは決算額、平成22年度は最終予算額、 平成23年度は当初予算額を使用。
  - ・人口は、平成22年度までは各年10月1日現在、平成23年度は4月1日現在の奈良県 推計人口調査の数値を使用。

### ② 地方消費税清算金

地方消費税の都道府県間の清算による地方消費税清算金については216億9,500万円で、前年度に比べて12億3,300万円(6.0%)の増となっています。

### ③ 地方譲与税

地方譲与税は、地方法人特別譲与税の増加により、予算額は167億4,600万円、前年度に比べて26億9,600万円(19.2%)の増となっています。

#### ④ 地方特例交付金

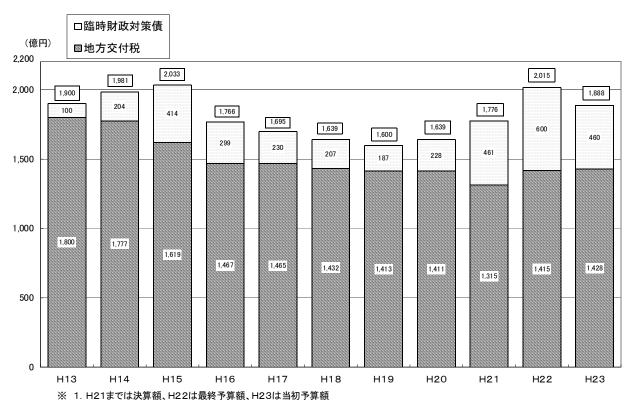
地方特例交付金は、予算額は15億円、前年度に比べて1億円 (△6.3%) の減となっています。

#### ⑤ 地方交付税

地方交付税は、全国の地方公共団体に一定の行政水準を保障するため、特定の国税(所得税、法人税、酒税等)収入額の一定率に相当する額等を総額として、それぞれの地方公共団体の行財政需要に応じて国から交付されるものですが、予算額は1,428億円、前年度に比べて90億円(6.7%)の増となっています。また、地方交付税の振替である臨時財政対策債は予算額は460億円と、対前年度140億円(△23.3%)の減となっています。

地方交付税、臨時財政対策債の推移は、第4図のとおりです。

## 第4図 地方交付税等の推移



2. 臨時財政対策債は、地方交付税の振り替えとして発行する県債(元利償還費全額が交付税措置)

#### ⑥ 国庫支出金

国庫支出金は、主に特定の事務事業に充てるための財源として国が負担または補助するものです。生活保護費等の扶助費にかかる国庫負担金が増となる一方、前年度に実施した国勢調査、参議院議員選挙経費の皆減等による国庫委託金の減や普通建設事業にかかる国庫支出金の減(公共事業の新規箇所等は補正予算対応の予定)により、予算額は519億2,231万2千円、前年度に比べて77億371万8千円(△12.9%)の減となっています。

#### ⑦ 繰入金

国補正予算等を活用して造成又は積み増しを行った各種基金からの繰入金を財源とした事業を積極的に展開するため、予算額は274億5,219万9千円、前年度に比べて65億4,985万5千円(31.3%)の増となっています。

#### ⑧ 県 債

地方交付税の振替である臨時財政対策債が、地方財政計画において大幅に減額されたことから、本県においても減少するとともに、公共施設の建設や災害復旧事業など、その効果が後年度に及ぶ事業の財源とするために発行する県債(通常債)が減少していることから、県債の予算額は735億390万円、前年度に比べて176億4,090万円(△19.4%)の減となっています。

なお、県債の発行に当たっては、極力、交付税により財源措置がなされる地方債を活用するよう努めています。

#### (3) 歳出予算の状況

#### ① 目的別内訳

歳出予算を目的別に分類すると、第5図、第5表のとおりです。教育費が 1,186億2,280 万9千円(構成比25.9%)と最も多く、公債費が769億9,828万3千円(同16.8%)とこれに続き、以下健康福祉費、土木費、警察費、諸支出金の順になっています。

#### ② 性質別内訳

歳出予算を性質別に分類すると、第6図、第6表のとおりです。人件費が1,650億1,352万 8千円(構成比36.1%)と最も多く、次いで補助費等が1,106億3,065万6千円(同24.2%)で 続き、以下公債費、普通建設事業費の順になっています。

人件費については、引き続き職員定数の削減を図ったこと等により、前年度に比べて1.3 %の減となりました。退職手当については、団塊の世代の退職等により引き続き高い水準で推移しています。

公債費は、地方交付税の振替として発行している臨時財政対策債の償還が増加すること等により前年度に比べて2.7%の増となりました。

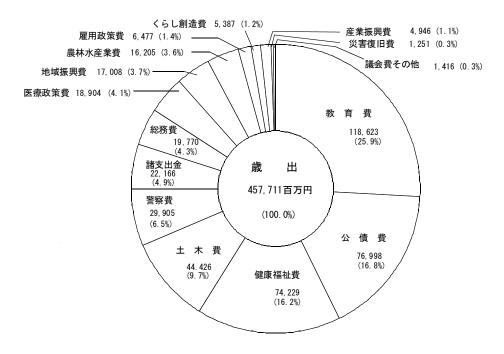
普通建設事業費については、橋梁補修等の既存施設の維持・補修及び補強、浸水常襲地域 対策等の県民生活の安全・安心の確保、幹線道路ネットワークの形成など、整備効果の高い 事業や緊急性のある事業への「選択と集中」を徹底するとともに、医療施設の耐震化など国 補正予算等による各種基金を活用した事業を積極的に展開します。

補助費等については、私立学校教育経常費補助金、私立高等学校等就学支援金、病院事業

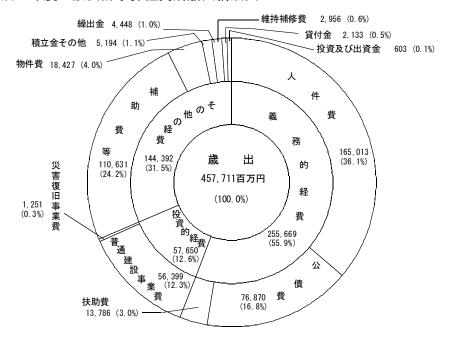
費特別会計への補助、企業立地促進補助金、放課後児童健全育成事業費補助金など、主要な政策課題にかかる補助負担金は積極的に予算化を図りました。また、市町村による雇用対策の実施、介護職員の処遇改善など、21年度の国補正予算等による各種基金を活用し、きめ細かな対策を実施します。さらに、国の社会保障制度に関する経費が、高齢化の進行等により引き続き増加すること等から、前年度に比べて2.1%の増となりました。

物件費については、国補正予算等による各種基金を活用し、雇用環境が厳しい若年者等の雇用を創出するとともに、子育て、介護、医療等の各分野における主要課題に積極的に対応します。また、平城京歴史館の運営や「記紀・万葉」フォーラム、東アジア地方政府会合などを実施すること等から、前年度に比べて10.5%の増となりました。

#### 第5図 平成23年度一般会計予算目的別歳出構成図



# 第6図 平成23年度一般会計予算性質別歳出構成図



# 第5表 平成23年度一般会計予算(目的別歳出)

(単位:千円、%)

17.			$\wedge$	平	成	23	年月	度	平	成	22	年	度	比			較
区			分	予	算	額	構成	比	予	算	額	構足	戊比	増	減	額	増減率
1	議	会	費	1,	315	, 536		0.3	1	, 183,	551		0.3		131,	, 985	11.2
2	総	務	費	19,	770,	, 108		4. 3	30	), 006,	812		6. 5	△ 1	0, 236,	, 704	△ 34.1
3	地:	域 振 興	!費	17,	007	, 777		3. 7	12	2, 783,	589		2. 7		4, 224,	, 188	33.0
4	健)	隶 福 祉	:費	74,	228	, 853	1	.6 <b>.</b> 2	68	3, 418,	344		14. 7		5, 810,	, 509	8.5
5	医	寮 政 策	費	18,	904	, 370		4. 1	16	5, 102,	001		3. 5		2, 802,	, 369	17. 4
6	くら	し創造	查費	5,	387	, 571		1.2	6	5, 123,	857		1. 3		∆ 736,	, 286	△ 12.0
7	雇	用政策	費	6,	476	, 654		1. 4	3	3, 769,	540		0.8		2, 707,	, 114	71.8
8	農材	水產業	<b></b>	16,	205	, 066		3. 6	17	', 411,	991		3. 7	$\triangle$	1, 206,	, 925	△ 6.9
9	産	業 振 興	!費	4,	946	, 317		1. 1	4	l, 813,	721		1. 0		132,	, 596	2.8
10	土	木	費	44,	426	, 041		9. 7	57	, 549,	862		12. 4	△ 1	3, 123,	, 821	△ 22.8
11	警	察	費	29,	904	, 811		6. 5	28	3, 916,	887		6. 2		987,	, 924	3. 4
12	教	育	費	118,	622	, 809	2	25. 9	119	), 602,	530		25. 7	_	∑ 979,	, 721	△ 0.8
13	災:	害復旧	曹	1,	250	, 904		0.3	1	., 383,	001		0.3	_	\ 132,	, 097	△ 9.6
14	公	債	費	76,	998	, 283	1	6.8	74	l, 979,	414		16. 1		2, 018,	, 869	2. 7
15	諸	支 出	金	22,	165	, 900		4. 9	22	2, 172,	900		4.8		△ 7,	, 000	△ 0.0
16	予	備	費		100	, 000		0.0		100,	000		0.0			0	0.0
/	<u>}</u>	計	<del> -</del>	457,	711	, 000	10	0.0	465	5, 318,	000	1	.00.0	$\triangle$	7, 607,	, 000	△ 1.6

第6表 平成23年度一般会計予算(性質別歳出)

(単位:千円、%)

	区分	平 成 23	年 度	平 成 22	年 度	比	較
	区 分	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比	増減額	増減率
	人 件 費	165, 013, 528	36. 1	167, 227, 372	35. 9	△ 2, 213, 844	△ 1.3
義務	うち退職手当	20, 198, 000	4. 4	20, 672, 000	4. 4	△ 474,000	△ 2.3
的経	扶 助 費	13, 785, 965	3. 0	13, 181, 184	2.8	604, 781	4. 6
費	公 債 費	76, 869, 874	16.8	74, 883, 620	16. 1	1, 986, 254	2. 7
	計	255, 669, 367	55. 9	255, 292, 176	54.8	377, 191	0. 1
	普通建設事業費	56, 399, 390	12. 3	66, 256, 280	14. 3	△ 9,856,890	△ 14.9
	一般公共事業費	25, 289, 109	5. 5	36, 869, 960	7. 9	△ 11, 580, 851	△ 31.4
投	補助建設事業費	9, 818, 676	2. 2	8, 555, 331	1. 9	1, 263, 345	14.8
資	単独公共事業費	4, 353, 409	0. 9	4, 304, 851	0.9	48, 558	1. 1
的	単独建設事業費	6, 370, 068	1. 4	4, 382, 004	1.0	1, 988, 064	45. 4
経	国直轄事業負担金	8, 939, 512	1. 9	10, 183, 921	2. 2	△ 1, 244, 409	△ 12.2
費	受託事業費	1, 628, 616	0.4	1, 960, 213	0.4	△ 331, 597	△ 16.9
	災害復旧事業費	1, 250, 904	0.3	1, 383, 001	0.3	△ 132, 097	△ 9.6
	計	57, 650, 294	12.6	67, 639, 281	14. 6	△ 9, 988, 987	△ 14.8
	物件費	18, 426, 717	4. 0	16, 674, 516	3.6	1, 752, 201	10. 5
	維持補修費	2, 956, 007	0.6	2, 869, 763	0.6	86, 244	3. 0
そ	補助費等	110, 630, 656	24. 2	108, 353, 338	23. 3	2, 277, 318	2. 1
の	うち県税交付金等	21, 610, 000	4. 7	21, 812, 000	4. 7	△ 202,000	△ 0.9
他	投資及び出資金	603, 300	0. 1	415, 050	0. 1	188, 250	45. 4
の	貸 付 金	2, 133, 442	0. 5	3, 099, 699	0.7	△ 966, 257	△ 31.2
経	積 立 金	5, 093, 622	1. 1	6, 063, 743	1.3	△ 970, 121	△ 16.0
費	繰 出 金	4, 447, 595	1.0	4, 810, 434	1. 0	△ 362, 839	△ 7.5
	予 備 費	100,000	0.0	100, 000	0.0	0	0.0
	計	144, 391, 339	31.5	142, 386, 543	30. 6	2, 004, 796	1. 4
	合 計	457, 711, 000	100.0	465, 318, 000	100.0	△ 7,607,000	△ 1.6

## 3 特別会計予算の状況

県が特定の事業を行うため地方自治法第209条第2項の規定に基づき設置している特別会計は、第7表のとおり12会計で、その総額は1,455億9,636万円となっており、前年度に比べて24億8,246万円、1.7%の増となっています。

# 第7表 平成23年度特別会計予算

(単位:千円)

											7 5							立, 1円/
		区			分			平成	₹23 <sup>£</sup>	<b></b>	平月	戎22 <sup>左</sup>	<b></b>		比			較
					)J			予	算	額	予	算	額	増		 或	額	増減率
		大学之大学		人 奈 関 <i>包</i>			立費		6, 3	321, 000		6, 2	254, 000			6	57, 000	% 1. 1
奈 .	良,	県 営	競	輪	事	業	費		12, 6	627, 000		16, 3	344, 000		△ 3	, 71	7, 000	△ 22.7
奈駐	良	県 車	見う	光 彰		助	車費		4	413, 000		3	366, 000			4	7, 000	12.8
奈 .		県 母 金	子貸		婦 <sup>;</sup> 付		祉 金		1	146, 100		1	120, 300			2	25, 800	21.4
奈 .	良 .	県 農	業付	改	良		金 金		3	385, 300		2	298, 300			8	37, 000	29. 2
奈.	良	県 中 金	小貸		業 i 付		興金		ç	966, 000		8	390, 000			7	76, 000	8.5
奈	良	県	証	紙	ų	ζ,	入		4, 6	652, 000		5, 1	100, 000		$\triangle$	. 44	8, 000	△ 8.8
奈事	良	県 🏻	た サ 業	或 🗆	下 7	水	道費		10, 6	596, 000		11, 2	259, 000		$\triangle$	. 56	3, 000	△ 5.0
奈.貸	良	県林	業付	改	善		金 金		2	244, 760		1	124, 700			12	0, 060	96. 3
奈 .	良	県 中	央業	卸	売		場費		6	548, 200		(	537, 500			1	0, 700	1.7
奈	良	県	公	債	雀	<u> </u>	理	10	08, 2	242, 000		101, 4	149, 000		6	5, 79	3, 000	6.7
奈貸	良	県 7	育 <sub>月</sub> 付	戎 步	廷 -		金 金		2	255, 000		2	271, 100		4	<u>\</u> 1	6, 100	△ 5.9
			計					14	45, 5	596, 360		143, 1	113, 900		2	, 48	32, 460	1.7

# 4 奈良県行財政運営プラン2011

県政諸課題への対応は以下のとおりです(平成23年度当初予算等)。

(圏は新規事業)	(単位:		
事 業 名 及 び 事 業 内 容 	事	業	費
【経済活性化】			
1 地域産業の支援・創出			
(1) 意欲のある企業・起業家への重点支援			
付加価値獲得の支援			
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			2
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			16
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			5
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			6
・企業が抱えるニーズを収集し、新産業創出に向けた技術マッチング等を支援			20
・奈良発ニュービジネスの発掘・育成			5
・技術に特徴のある企業の新規事業化を支援しリーディングカンパニーを創造			10
・中小企業の資金需要に対応した低利融資(融資枠620億円)			-
国内外への販路開拓支援			
・			Ç
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			2
・			4
起業の促進			
・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・			7
・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・			7
・創業支援資金の貸付(融資枠12億円)(再掲)			-
・宿泊施設や飲食店創業を支援するおもてなし産業強化資金の貸付(融資枠7億円)(再			-
掲)			
(2)企業誘致の推進			
誘致活動の強化			
・成長産業に重点を置いた戦略的企業誘致活動の展開			44
• 企業立地促進補助金	〔債務負持		000
・立地企業の人材確保支援及び周辺環境整備による定着の促進	[頂物貝]	旦1 ] 為3,	, 20
・立地企業への設備・運転資金低利融資(融資枠20億円)(再掲)			-
誘致に向けたインフラ整備			
・京奈和自動車道(仮称)橿原南・御所IC周辺産業用地調査の実施			46
・京奈和自動車道・中和幹線の整備		5, 6	_
・西名阪スマートICの整備			.82
	1		

事 業 名 及 び 事 業 内 容	事業費
2 観光の振興	
(1) 周遊型観光地としての魅力の向上	
平城遷都1300年祭継承事業の展開	
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	302
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	163
・劒「巡る奈良」を継承する県内各地の賑わいづくり等の支援	30
観光地としての魅力向上等	
・奈良公園の魅力向上(飛火野周辺地区整備基本設計、圏若草山周辺の歩行環境整備の	340
検討、吉城園周辺地区国有地の買収等)	
・平城宮跡の魅力向上(休憩所、トイレ、駐車場等のサービス施設整備)	446
・史跡・名勝飛鳥京跡苑池の復原整備に向けた基本構想策定・用地取得等	198
・奈良の歴史展示推進	27
・劒(仮称)やまと花ごよみ2011開催	10
・観光ボランティアガイド育成	1
交通・周遊対策	
・奈良公園内周遊バスの運行、登大路ターミナル整備の検討等	166
・ <b< td=""><td>642</td></b<>	642
• 自転車観光推進	226
宿泊力の強化	
・ホテルを核とする賑わいと交流拠点整備の推進	122
・奈良の宿創業資金、奈良の宿パワーアップ資金等の貸付(融資枠20億円)	-
食の魅力向上、土産・特産物の充実	
・劒奈良の美味しい食とすばらしい眺望を楽しめるレストランへの支援	11
・奈良フードフェスティバルの開催	12
・大和野菜等を活かしたイタリアンなど「美味しい奈良」の創造	3
・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・	37 [一部H23 2月補正]
(2) 通年型観光地に向けた観光オフシーズン対策の推進	
・劒奈良公園ライトカーニバル開催	12
・劒若草山ミュージックフェス開催	11
<ul><li>・奈良マラソン2011開催</li></ul>	76
<ul><li>・</li></ul>	7
・奈良公園光とあかりのイベント	11
・コンベンション誘致強化	8

(剉/み利/ <b>が</b> ず未) ┏	(半江	• 🖂 /	2   1)
事業名及び事業内容	事	業	費
(3) 奥深い奈良の魅力を効果的に発信			
記紀・万葉プロジェクトの推進			
・記紀・万葉フォーラム開催			16
・府県連携シンポジウム開催等			27
誘客情報の発信			
・ ・ 動 九 州 主 要 都 市 等 で の 観 光 キャンペーン			4
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			8
外国人観光客の誘致(インバウンド)			
・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・			12
・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・			20
・中国陝西省・韓国忠清南道との交流の推進			48
・東アジア地方政府会合開催			208
・			29
・東アジア・サマースクール開催	0	H23 2月	51  補正〕
3 県内消費の拡大、雇用対策の推進			
(1) 県内消費の拡大			
商店街の活性化、サービス業の拡大等			
・  ・  ・  ・  の  成功  事例  を  学ぶ  商店  街活  性化  セミナー  の  開催			1
・若手経営者の商店街活性化プランへの支援			6
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			27
・ ・ 新規創業者等の魅力あるお店づくりを支援(再掲)			7
<ul><li>・15%プレミアム付き県内商品券の発行(34.5億円)</li></ul>	0	H23 2月	384
・国の住宅版エコポイント制度の対象となる住宅リフォームへの県独自支援(県内商品	1		104
券交付)			
・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・			10
魅力ある商品の創出、観光振興による宿泊観光客の増加			
・  ・  の  なら  スタイルアンテナショップの  設置・  運営			23
・協定農産物直売所「地の味土の香」のブランド力強化			10
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	[一部]	H23 2月	37  補正]
・ホテルを核とする賑わいと交流拠点整備の推進(再掲)			122
・宿泊施設や飲食店創業者等への低利融資(融資枠22億円)(一部再掲)			_
(2) 雇用対策の推進			
厳しい雇用情勢への対応、雇用のミスマッチの解消			
・一時的な雇用機会を創出する緊急雇用対策の実施(県734人 市町村1,585人)		3,	976
・継続的な雇用創出に向けたふるさと雇用対策の実施(県412人 市町村113人)		2,	475

事業名及び事業内容	事業費
・	16
・関係及しこと「ピンターにおいて県内企業別職布室有へのマッケンク叉援美地(円均)・民間施設を活用した多様な職業訓練の実施	396
・ 以间地段を百角 した多像な概素訓練の天地	〔債務負担行為66〕
女性の就労支援、仕事と生活の調和の推進	
・劒「子育て女性の就職相談窓口」の開設	9
・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・	_
・母子家庭の母等の就業支援	23
・ひとり親家庭や障害者等の就職困難者への在宅就業支援	270
・再就職を希望する女性を対象とした就活塾の開催等	4
・企業訪問によるテレワーク導入企業の開拓	8
・働「こども家庭局」を「こども・女性局」に改称し、「女性支援課」を設置[県庁力]	_
若者への就労支援や就業意識の醸成	
・ 分新卒学生等雇用促進支援資金の創設 (融資枠15億円) (再掲)	_
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	2
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	178
・高校生の県内企業体感ツアー実施	16
4 農林業の振興	
(1) 奈良の美味しい「食」の創造と発信	
・劒奈良の美味しい食とすばらしい眺望を楽しめるレストランへの支援(再掲)	11
・大和野菜等を活かしたイタリアンなど「美味しい奈良」の創造(再掲)	3
・食を中心に奈良の多様な魅力を伝える「奈良カフェ」の展開	2
・協定農産物直売所「地の味 土の香」のブランド力強化(再掲)	10
・「おいしい奈良産協力店」と連携した地産地消の推進	1
(2) マーケティング・コスト戦略に基づいた農産物の振興	
・チャレンジ品目(大和野菜、サクランボ、切り花ダリア、有機野菜)への支援	15
・リーディング品目(イチゴ、柿、茶、キク)の産地競争力の強化等	24
・大和畜産ブランド(大和牛、大和肉鶏、ヤマトポーク、大和なでしこ卵)の販売促進	18
(3) 意欲ある担い手への支援	
・意欲ある担い手を対象とした農業経営のスキルアップ支援	2
・産地実践研修等による農業新規参入者の育成	14
・民間企業の新規農業参入への支援	19
・新規就農者に向けた低利融資の実施及び一部償還の免除(融資枠12百万円)	_
(4) 地域資源を活用した農村地域の活性化	
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
・	2
・鳥獣被害対策の強化	433

(	(単位	:白力	/円)
事業名及び事業内容	事	業	費
(5) 県産材の安定供給と利用促進			
県産材の安定供給			
・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・		2	241
・計画的な育成等による木材生産の推進		4	157
県産材の利用促進			
・県産材を使用した新築住宅(構造材・内装材)、リフォームへの支援等			32
・> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			3
等)			
(6) 森林の適切な保全と活用			
・施業放置林の解消		2	260
・里山づくりの推進(一部再掲)			30
・ ・ の森林とのふれあい推進(立入利用林及び眺望活用林の整備に向けた計画策定)			5
・全国育樹祭の開催		2	261
【くらしの向上】			
5 健康づくりの推進			
(1) みんなで取り組む健康づくりの推進			
・健康長寿基礎調査の実施、モデル市町村での地域に根ざした取組の実践、南和地域の			38
特性を踏まえた効果的な取組の検討などによる健康長寿の文化づくり推進			
・ > 総合ポータルサイトの構築により健康長寿情報をわかりやすく提供			11
・市町村が実施するきめ細かな健康増進施策への助成			40
・ いたばこ・食生活・生活習慣についての知識普及による子どもの健康づくり推進			21
・劉新たな奈良県食育推進計画の策定			5
・県内大学生との連携による若年世代の食生活改善支援			2
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			14
(2) 健康診査受診・生活習慣病対策・こころの健康づくりの推進			
・・・ 圏医療機関との連携等による健診受診の促進及び糖尿病、高血圧の治療勧奨等の推進			15
・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・	「 <b>─</b> -辛四	1,2 H23 2月	
・生活習慣病の主因となるたばこ対策の推進	( 144	120 271	4
・市町村及び関係団体との連携による自殺対策の強化			67
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			11
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ を いる ・ の は いる ・ の は いる ・ の は いる ・ の は に いる に は の は に に いる に は の は に に に に に に に に に に に に に に に に			11
(3) 県民スポーツの振興			
・ > ・ > ・ > ・ > ・ > ・ > ・ > ・ > ・ > ・ >			59
・ 奈良マラソン2011開催(再掲)			76
<ul><li>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>			7
・総合型地域スポーツクラブの設立・育成支援			6

(圏は新規事業)	(単位	: 白力	7円)
事業名及び事業内容	事	業	費
・広域的な自転車利用ネットワークの構築(再掲)		4	213
・水辺の遊歩道整備		,	360
・PFI手法による新県営プールの整備等		4	207
	〔債務負	担行為6	, 965]
6 医療の充実			
(1) 高度医療の確保・充実			
・北和地域高度医療拠点病院としての新県立奈良病院整備にかかる調査			20
・県立医科大学附属病院(仮称)中央手術棟の整備		(	371
・県立医科大学教育部門の移転検討			9
・県立奈良・三室・五條病院の運営			574
・県立医科大学の運営支援等		5, (	021
・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・			5
(2) 救急医療体制等の構築			
・救急相談窓口「奈良県救急安心センター(#7119)」の運営			96
・救急医療管制システム等の整備及び救急搬送・受入実施基準の運用			100
・小児科病院輪番体制の確保、小児救急電話相談(#8000)の実施、休日夜間応急診療			52
所への支援など小児救急医療体制の確保			
・ 産婦人科一次救急医療体制の確保			80
・総合周産期母子医療センターの運営			20
・災害拠点病院及び二次救急医療機関の建物耐震化への助成		2, 8	327
(3) 医師・看護師の確保			
<ul><li>・医科大学との連携による公立病院等への医師配置システムの運営</li></ul>			75
・医師確保対策の推進(臨床研修医の確保、医療クラークの育成、ドクターバンクの運			53
営、劒医科大学における地域医療マインドを持った医師の養成等)			
・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・			14
<ul><li>特定診療科医師やへき地勤務医の確保に向けた奨学金の貸付</li></ul>			161
・看護師確保対策の推進(働看護業務サポート人材の導入支援、働情報サイト「なら看		2	437
■ 護師応援ネット」による情報発信、短時間正規雇用など多様な働き方の実現支援、看			
護師のキャリアアップ支援等)			
(4) 地域医療連携体制の構築			
・専門医と非専門医の診療連携や人的ネットワークの構築による糖尿病医療の充実			77
・健康・医療に関する情報をポータルサイトによりわかりやすく提供			28
・救急医療連携体制の強化(病院連携、疾患別医療連携、連携アドバイザーの設置)			7
・県内医療機関の連携体制充実に向けた医療機能データの収集・分析			71
・がん診療連携拠点病院等への支援			145
・地域がん登録の推進及びがん診療連携状況調査の実施等			67
TO THE TOTAL STREET, ON TOTAL MANAGER AS SOME A			

(例は利风事業)	(半江	· ப /	2   1/
事業名及び事業内容	事	業	費
7 福祉の充実			
(1) 障害者支援の充実			
相談体制の充実・住まいの確保等			
・ライフステージに応じた障害者トータルサポート体制の整備			4
・障害の種別を問わない総合相談支援拠点「ほっと支援センター」の整備支援			4
・専門性が高く広域的な対応が必要な相談等に対応できるネットワーク体制の整備			24
・障害者福祉施設・設備の充実			117
・障害者グループホームの整備			43
・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・			20
雇用の充実・社会参加の促進			
・圗障害者の農業への就労を支援			2
・看護及び介護業務補助等の障害者雇用創出			24
・ ・ 一 の で に で に の で に に の で に に に の に に に に に			19
・授産施設における工賃倍増の取組を支援			5
(2) 高齢者支援の充実			
暮らしのサポート・社会参加の促進			
・高齢者や家族の相談・支援体制の中核的役割を担う地域包括支援センターの機能強化			2
・>地域での見守り機能を併せ持つ高齢者の居場所づくりの整備		,	403
・各種制度やサービスを活用した高齢者の在宅生活を支えるシステムの構築			1
・地域の社会的課題等に対応する高齢者や障害者等が中心となった企業創設を支援			9
・  一  ・  一  一  一  一  一  一  一  一  一  一  一			17
・>ののでは、また、では、またのでは、またでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ			17
サービス基盤の充実・福祉人材の確保			
・小規模介護施設の新・増設支援等		2,	285
・憲訪問看護サービス体制の充実			10
・特別養護老人ホームの整備	〔債務	, 負担行	732 為395〕
・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・	[一部]	H23 2月	8 補正]
・介護職員の処遇改善		1, 9	909
・福祉に関心のある求職者の雇用創出、潜在的有資格者への再就職支援等		;	363
(3) 子育て支援の充実			
・創意工夫のある地域の子育て活動を支援		4	413
・放課後児童クラブ運営支援等		4	476
・待機児童の解消に向けた保育所の増改築等		4	470
・ひとり親家庭への支援(劉父子家庭等への医療費助成等)(一部再掲)		;	310
	1		

( <i>圏は</i> 新規事業)	(単位	:日力	円)
事業名及び事業内容	事	業	費
<ul><li>妊娠期の親を対象とした支援プログラムの検討、子育て支援ネットワークの構築、フ</li></ul>			12
オーラムの開催			
(4) 児童虐待の防止強化			
・   ・  ・  ・  ・  の  関係機関等の対応力向上や  内を  の  の  の  の  の  の  の  の  の  の  の  の  の		18	80
・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・		į	54
8 学びの支援			
(1)家庭・地域・学校の協働による教育の充実			
① 家庭・地域			
家庭における子どもの生活習慣づくり			
・劒夏休みノーテレビ・ノーゲームデーの推進			1
・幼稚園児等を対象とした「おはよう・おやすみ・おてつだい」 3 つの約束運動の展開			2
地域の教育力の充実			
・  一  ・  一  会  会  で  で  が  連  携  して  学  校  運  営  や  放  課  後  活  動  等  を  支  援  す  る  体  制  の  整  備			39
・通学合宿の実施や体験学習プログラムの推進等による「地域の教育力」の向上			5
② 学校			
学校における学習意欲、体力、規範意識の向上、暴力行為の減少等			
・・ 動幼児期から小学校への接続期実態調査の実施			1
・小学校及び私立学校等における運動場芝生化の推進		į	52
・・ 一学校・家庭・地域が集うわくわくまなびフェスタの開催			2
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			5
・劒幼児の運動能力調査等の実施			1
・ > 別児童生徒の体力テスト実施マニュアルの策定			1
・劒高校生のボランティア活動参画促進			1
・ ・ の 不 登 校 児 童 生 徒 等 へ の き め 細 か な 対 応 を 行 う た め の 講 師 配 置			9
・ ・ の 不 登 校 児 童 生 徒 へ の 適 切 な 対 応 を 図 る た め の ガ イ ド ラ イ ン 策 定			8
・> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			7
学校教育環境の充実			
・教職員の配置(小・中学校 7,603人、高校 2,081人、特別支援学校 1,029人)			-
・県立学校施設の耐震化及び大規模改修等		1,19 負担行為 H23 2月補	704]
・私立学校・幼稚園の教育経常費の助成		6, 33	37
• 私立高校等就学支援金等		2, 2	55
(2) ライフステージに応じた学びの支援			
多様な学びの促進			
・高校生を対象とした乳幼児ふれあい体験の実施			1
・野外活動センターの施設整備		26	69

() () () () () () () () () () () () () (	(単位:白力円)
事業名及び事業内容	事業費
・ニート・ひきこもり支援を葛城市等と連携して実施	2
・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・	1
文化活動の拡大とレベルの向上	
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	9
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
9 安全・安心の確保	
(1)災害に強い地域づくり	
① 地震	
・地震防災対策アクションプログラムの推進	2
・地域住民・企業への啓発やリーダー養成等による地域防災力の向上	2
・防災資機材の購入支援による自主防災組織の組織化促進	10
・防災総合訓練、図上訓練の実施	3
・県営水道施設の耐震化	82 〔債務負担行為150〕
・県有建築物耐震化	123
• 県立学校耐震化	455 〔債務負担行為406〕
・橋梁長寿命化修繕の推進	1, 122
・国の住宅版エコポイント制度の対象となる住宅リフォームにあわせて耐震改修を行っ	2
た場合に県内商品券を交付(再掲)	
・既存木造住宅等の耐震診断・耐震改修への支援	13
② 火災	
・H25年度の県内1消防本部体制に向けた市町村消防広域化の取組を支援	2
・林野火災消火訓練の実施	1
③ 水害等	
・治水対策(河川・砂防・ダム)	6, 174
・土砂災害警戒区域等の指定等	181
(2) 食と生活の安全・安心の確保、感染症対策	
・食品衛生指導の推進	1
・消費生活相談機能の強化、消費者被害防止啓発の実施	99
・新型インフルエンザ対策の強化(圏対策訓練の実施、対策専門家会議の開催、サーベ	8
イランスの実施等)	
(3) 犯罪及び交通事故抑止対策の推進	
犯罪抑止対策	
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	_
・ 働防犯リーダーによるパトロール等強化、自主防犯ボランティア団体との連携強化	103
・精強な第一線警察の構築に向けた資機材の拡充	5

(制は新規争業) 	(单位:日万円)
事業名及び事業内容	事業費
・地域安全総合サポートシステムにより犯罪情報や不審者情報等を地域住民等に迅速に	13
提供	
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	43
・(仮称) 奈良県暴力団排除条例の制定	-
交通事故抑止対策	
・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・	28
・交通安全施設の整備(信号機の新設・改良、標識の整備等)	1,815 〔一部H23 2月補正〕
10 景観・環境の保全、くらしやすいまちづくり	
(1) 美しく風格のあるまちなみ景観の保全・創造	
・景観条例に基づく景観住民協定の締結及び修景整備の推進等	5
・ 県景観計画に基づく広域幹線沿道区域等の景観の保全 [県庁力]	_
・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・	58
善策の検討、幹線沿道花いっぱい空間の創出、彩りある河川空間の創出、圏(仮称)	[一部H23 2月補正]
やまと花ごよみ2011開催) (一部再掲)	
・無電柱化の推進	31
・三輪山線(桜井市)や大宮通り(奈良市)沿道の景観づくり等	11
・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・	5
・国の住宅版エコポイント制度の対象となる住宅リフォームにあたって景観に配慮した	10
場合に県内商品券を交付(再掲)	
(2) きれいでくらしやすい生活環境の創造	
① 清流の保全と復活	
<ul><li>・大和川水質改善(菰川導水改善計画検討、働菩提川導水社会実験等)</li></ul>	12
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	9
② 低炭素社会の実現	
・太陽光発電普及拡大に向けて導入経費を無利子貸付	55 〔債務負担行為176〕
・   ・   の   こ   こ   こ   こ   こ   に   の   に   に	13
・民間事業者が行う太陽光発電や省エネ施設の導入、市町村が取り組む公共施設省エネ	109
化等を支援	100
③ 循環型社会の構築	
・産業廃棄物の排出抑制・再生利用・適正処理の推進(一部再掲)	182
(3) 地域性を活かした住み良いまちづくりの推進	
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	50
・公共交通利用促進に向けた駅を中心としたまちづくりの検討	15
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	8
・劉山辺の道周辺地域づくりの推進	5

<b>炒は利风事未</b> )	<del>\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ </del>	. 11/4	, 1
事業名及び事業内容	事	業	費
・地域を元気にする一市一まちづくりの推進			19
・河川空間や周辺施設を活用した高齢者等が暮らしやすいまちづくりの検討			7
・水辺の遊歩道整備・秋篠川舟運の復活検討(再掲)		3	860
・  一  ・  一  一  一  一  一  一  一  一  一  一  一			10
・奈良県交通基本戦略の推進に向けた効率的な路線バス運行計画の検討等			23
(4) 人権を尊重した社会づくり			
・日常的に態度・行動に結びつくような人権教育の充実			61
・多様な媒体・手法による人権啓発の推進			45
・ > 寄若者の人権意識調査の実施			10
【経済活性化とくらしの向上の2本柱を支える取組】			
〔効率的・効果的な基盤整備〕			
(1)「選択と集中」による社会資本の整備・管理			-
以下の視点を重視しつつ、効果や緊急性を踏まえ「選択と集中」を徹底します。			
・既存施設の維持・補修、補強(橋梁補修及び橋梁耐震補強等)			
・県民生活の安全・安心の確保(交通事故対策、道路防災対策、浸水常襲地域対策等)			
・「奈良の今後5カ年(H21~H25)の道づくり重点戦略」に基づく幹線道路ネットワー			
クの形成(供用目標宣言路線、重点整備宣言箇所等の整備)			
・特定プロジェクト等の計画的推進(奈良公園及び周辺地域の整備、平城宮跡周辺地域	į.		
の整備、PFI手法による新県営プールの整備)			
・無電柱化等による景観の向上及び周遊観光の促進(無電柱化の推進、自転車利用の促	:		
進、良好な河川空間の創出)			
PDCAサイクルにより取組内容の改善に努めます。			
・マネジメントサイクルによる評価・見直しを行い、「選択と集中」による社会資本整	:		
備・管理の質の向上を図ります。			
2)「奈良県交通基本戦略」による移動環境の改善			
日常生活における安全・安心な移動手段の確保、来訪者をもてなす質の高い交通環境の	,		
充実をはじめ、多様なニーズに対応する移動環境の整備に向け、以下の3つの視点から	1		
取組を進めます。			
・誰もが安心して暮らせるモビリティの確保を推進します。(過疎地域等における基幹			
的な生活交通の確保、市町村のコミュニティバス等への支援など)			
・奈良の魅力を高める交通環境の充実を図ります。(公共交通機関の利用促進、自動車			
による周遊観光の促進、歩行環境及び自転車利用環境の充実など)			
・持続可能な取組体制の構築に努めます。(地域交通に関わる関係者の総力の結集、多			
様な交通サービスの確保に向けた検討、PDCAサイクルによる交通施策マネジメン			
トなど)			

(協働の推進及び市町村の支援) (1) NPO等との協働の推進 地域貢献活動への参画支援 ・みんなで・守ロード、地域が育む川づくり等の推進(地元自治会、ボランティア団体 等が行う道路清掃・植栽活動、河川清掃・植栽活動等への支援)(一部再掲) 地域課題の解決に取り組む団体の支援 ・働「新しい公共」の自立的発展に向けた諸環境の整備(NPO等の運営基盤強化、人材育成支援等) ・奈良県協働推進基金を活用しNPO等の活動等を支援 ・ボランティア団体、NPO法人、自治会等が行う地域貢献活動への支援 ・働旧片桐高校に新たな協働の拠点(仮称)「協働推進センター」整備 協働を推進するための体制整備及び個別協働プロジェクトの推進 ・働「新しい公共」推進のための取組の展開(行政、NPO、企業等の多主体間の協働の推進) ・働NPO活動推進自治体フォーラムの開催 ・早稲田大学との連携による地域課題への対応 (2) 市町村の支援 市町村との役割分担を踏まえた連携(「奈良モデル」)の推進 ・奈良県の実情に即した県と市町村の具体の役割分担実現に向けた検討 ・商高齢者の健康づくりに向けた保険者機能の強化支援(再掲) ・市町村国民健康保険の広域化・一元化に向けた検討 ・市町村管理橋りょうの点検業務や長寿命化修繕計画策定業務を県が受託	- (炒は利风事業)							<u> </u>	. · □	73   17
(1) NPO等との協働の推進 地域貢献活動への参画支援 ・みんなで・守ロード、地域が育む川づくり等の推進(地元自治会、ボランティア団体等が行う道路清掃・植栽活動、河川清掃・植栽活動等への支援)(一部再掲)地域課題の解決に取り組む団体の支援 ・ ③「新しい公共」の自立的発展に向けた諸環境の整備(NPO等の運営基盤強化、人材育成支援等) ・ 奈良県協働推進基金を活用しNPO等の活動等を支援 ・ ボランティア団体、NPO法人、自治会等が行う地域貢献活動への支援 ・ ⑤旧片桐高校に新たな協働の拠点(仮称)「協働推進センター」整備 協働を推進するための体制整備及び個別協働プロジェクトの推進 ・ ③「新しい公共」推進のための取組の展開(行政、NPO、企業等の多主体間の協働の推進) ・ ③ NPO活動推進自治体フォーラムの開催 ・ 早稲田大学との連携による地域課題への対応	事	業	名 及	び	事 業	内	容	事	業	費
地域貢献活動への参画支援 ・みんなで・守ロード、地域が育む川づくり等の推進(地元自治会、ボランティア団体等が行う道路清掃・植栽活動、河川清掃・植栽活動等への支援)(一部再掲) 地域課題の解決に取り組む団体の支援 ・	〔協働の推進及び	市町村の支	ズ援〕							
・みんなで・守ロード、地域が育む川づくり等の推進(地元自治会、ボランティア団体等が行う道路清掃・植栽活動、河川清掃・植栽活動等への支援)(一部再掲) 地域課題の解決に取り組む団体の支援 ・	(1) NPO等との	協働の推進								
等が行う道路清掃・植栽活動、河川清掃・植栽活動等への支援)(一部再掲) 地域課題の解決に取り組む団体の支援 ・	地域貢献活動	への参画支持	爰							
地域課題の解決に取り組む団体の支援 ・	・みんなで・	守ロード、地	地域が育む川	づくり等	の推進 (	地元自治	会、ボランティア団体	2		58
・⑧「新しい公共」の自立的発展に向けた諸環境の整備(NPO等の運営基盤強化、人材育成支援等) ・奈良県協働推進基金を活用しNPO等の活動等を支援 ・ボランティア団体、NPO法人、自治会等が行う地域貢献活動への支援 ・⑩旧片桐高校に新たな協働の拠点(仮称)「協働推進センター」整備 協働を推進するための体制整備及び個別協働プロジェクトの推進 ・⑩「新しい公共」推進のための取組の展開(行政、NPO、企業等の多主体間の協働の推進) ・쏄NPO活動推進自治体フォーラムの開催 ・早稲田大学との連携による地域課題への対応 (2) 市町村の支援 市町村との役割分担を踏まえた連携(「奈良モデル」)の推進 ・奈良県の実情に即した県と市町村の具体の役割分担実現に向けた検討 ・衛高齢者の健康づくりに向けた保険者機能の強化支援(再掲) ・市町村国民健康保険の広域化・一元化に向けた検討 ・市町村管理橋りょうの点検業務や長寿命化修繕計画策定業務を県が受託	等が行う道	路清掃・植栽	<b></b> 裁活動、河川	清掃・植	ī 栽活動等	への支援	) (一部再掲)	[—‡	郭H23 2.	月補正〕
材育成支援等) ・奈良県協働推進基金を活用しNPO等の活動等を支援 ・ボランティア団体、NPO法人、自治会等が行う地域貢献活動への支援 ・働旧片桐高校に新たな協働の拠点(仮称)「協働推進センター」整備 協働を推進するための体制整備及び個別協働プロジェクトの推進 ・働「新しい公共」推進のための取組の展開(行政、NPO、企業等の多主体間の協働の推進) ・働NPO活動推進自治体フォーラムの開催 ・早稲田大学との連携による地域課題への対応 (2) 市町村の支援 市町村との役割分担を踏まえた連携(「奈良モデル」)の推進 ・奈良県の実情に即した県と市町村の具体の役割分担実現に向けた検討 ・働高齢者の健康づくりに向けた保険者機能の強化支援(再掲) ・市町村国民健康保険の広域化・一元化に向けた検討 ・市町村管理橋りようの点検業務や長寿命化修繕計画策定業務を県が受託 5	地域課題の解	!決に取り組む	で団体の支援	Š						
・ボランティア団体、NPO法人、自治会等が行う地域貢献活動への支援 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		_	立的発展に向	]けた諸環	境の整備	(NPO	等の運営基盤強化、力			47
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 奈良県協働	推進基金を活	舌用しNPC	等の活動	等を支援					16
協働を推進するための体制整備及び個別協働プロジェクトの推進 ・ (一) 「新しい公共」推進のための取組の展開(行政、NPO、企業等の多主体間の協働の推進) ・ (一) NPO活動推進自治体フォーラムの開催 ・ 早稲田大学との連携による地域課題への対応 (2) 市町村の支援 市町村との役割分担を踏まえた連携(「奈良モデル」)の推進 ・ 奈良県の実情に即した県と市町村の具体の役割分担実現に向けた検討 ・ (一) 高齢者の健康づくりに向けた保険者機能の強化支援(再掲) ・ 市町村国民健康保険の広域化・一元化に向けた検討 ・ 市町村管理橋りょうの点検業務や長寿命化修繕計画策定業務を県が受託  5	・ボランティ	ア団体、NF	PO法人、自	治会等が	行う地域	貢献活動	への支援			8
協働を推進するための体制整備及び個別協働プロジェクトの推進 ・	• > 制旧片桐语	校に新たな協	協働の拠点	(仮称)「†	協働推進せ	ンター」	整備		(1100 0	5
・ ⑥「新しい公共」推進のための取組の展開(行政、NPO、企業等の多主体間の協働の推進) ・ ⑥ NPO活動推進自治体フォーラムの開催 ・ 早稲田大学との連携による地域課題への対応  (2) 市町村の支援 市町村との役割分担を踏まえた連携(「奈良モデル」)の推進 ・ 奈良県の実情に即した県と市町村の具体の役割分担実現に向けた検討 ・ ⑥ 高齢者の健康づくりに向けた保険者機能の強化支援(再掲) ・ 市町村国民健康保険の広域化・一元化に向けた検討 ・ 市町村管理橋りょうの点検業務や長寿命化修繕計画策定業務を県が受託  5	切働な操催す	こための休生	訓敷借及び低	記しお飾っ	<sup>o</sup> ロ ジェ カ	トの推進			(H23 2)	月補止」
の推進) ・								th I		30
・		五八」16.00	ンイこのフマンゴス州上	الراكلا/ د		г О, ш	宋守"。多工作问"/ 伽月	٥		00
・早稲田大学との連携による地域課題への対応 (2) 市町村の支援 市町村との役割分担を踏まえた連携(「奈良モデル」)の推進 ・奈良県の実情に即した県と市町村の具体の役割分担実現に向けた検討 ・		動推准自治位	本フォーラム	の開催						2
(2) 市町村の支援 市町村との役割分担を踏まえた連携(「奈良モデル」)の推進 ・奈良県の実情に即した県と市町村の具体の役割分担実現に向けた検討 ・	-			, ,	5					8
・奈良県の実情に即した県と市町村の具体の役割分担実現に向けた検討 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(2) 市町村の支援									
・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  市町村国民健康保険の広域化・一元化に向けた検討 ・  市町村管理橋りょうの点検業務や長寿命化修繕計画策定業務を県が受託  5	市町村との役	割分担を踏る	まえた連携	(「奈良モ	デル」) の	推進				
<ul><li>・市町村国民健康保険の広域化・一元化に向けた検討</li><li>・市町村管理橋りょうの点検業務や長寿命化修繕計画策定業務を県が受託</li></ul>	・奈良県の実	情に即した場	県と市町村の	具体の役	割分担実	現に向け	た検討			26
・市町村管理橋りょうの点検業務や長寿命化修繕計画策定業務を県が受託 5	<ul><li>・</li></ul>	健康づくりに	こ向けた保険	き者機能の	強化支援	(再掲)				14
	• 市町村国民	:健康保険の点	広域化・一元	化に向け	た検討					4
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 市 町 村 へ の 権 限 移 譲 等 の 地 域 主 権 戦 略 大 綱 実 施 に 向 け た 支 援	• 市町村管理	!橋りょうの点	点検業務や長	:寿命化修	·繕計画策	定業務を	県が受託			54
	• 劉市町村へ	の権限移譲等	等の地域主権	戦略大綱	写実施に向	けた支援				2
市町村の行政経営向上への取組支援	市町村の行政	:経営向上への	の取組支援							
・早期健全化団体となり財政健全化に取り組む市町村へ無利子貸付による支援 50	• 早期健全化	:団体となり貝	け政健全化に	取り組む	市町村へ	無利子貸	付による支援			500
・市町村等が独自に取り組む創意工夫あふれる取組を支援 12	・市町村等が	独自に取り約	狙む創意工夫	きあふれる	取組を支	爰				120
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実施するコミ	ミュニティバ	にス等の地	域公共交	通確保へ	の支援 (再掲)			8
・市町村が実施する広域振興や過疎・辺地等の振興に要する事業費を貸付 50	・ 市町村が実	施する広域振	辰興や過疎・	辺地等の	振興に要	する事業	費を貸付			500
市町村の現状分析や情報提供を通じた支援	市町村の現状	:分析や情報提	是供を通じた	支援						
・市町村等との連絡調整充実のため地域支援員を配置、市町村長サミットの開催、人材 養成支援等			充実のため地	」域支援員	を配置、	市町村長	サミットの開催、人材	†		6
			 ≥化门					-		
(1)組織力の向上			ر <b>ن</b> ا ( م							_
分析力、構想力、実現力を遺憾なく発揮し、施策を着実に推進するため、以下の3つの	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		貴憾なく発揮	重し、施策	を着実に	推進する	ため、以下の3つの			
視点から組織力を向上			, , , , , , , , , , , , , , , ,		- 6.5	, •				
県民との協議・調整を適切に実施			刃に実施							

(	(単仏		<i>(</i> ) []/
事業名及び事業内容	事	業	費
経営資源の効率的・効果的活用			
・人材 「定員適正化計画」の策定・推進、人事評価制度の充実			
・財政 費用対効果と優先順位を見極めた選択と集中			
・資産 「県有資産の有効活用に関する基本方針」に基づく資産活用			
・情報 データ・情報の適切な分析、発信の意図を明確にした情報発信			
地域の活動主体との連携・協働			
・地域の各活動主体間の協働・連携を積極的に推進			
<ul><li>PFI手法による施設整備及び協定締結等による民間企業等との連携推進</li></ul>			
(2) 財政の健全化			_
歳入・歳出両面からの抜本的な取組の推進			
・県税の徴収強化(自動車税徴収事務の一元化、個人住民税の徴収強化、公売の促進等)			
・県営住宅家賃や貸付金等にかかる未収金対策の強化(債権回収業務の民間委託等)			
・資金調達の多様化(全国型市場公募地方債の発行 発行予定額300億円)			
・職員人件費の抑制(職員定数の削減△119人(一般行政部門、水道部門))			
・事業見直しの徹底(事業廃止76事業、事業縮小・見直し117事業 △2,483百万円)			
・特別会計改革の推進(特別会計繰越金の活用 2 特別会計 100百万円)			
・使用料・手数料の見直し(圏公の施設等への有料広告導入を推進)			
県有資産の有効活用			
・旧片桐高校:県施設の北部地域再配置計画に基づく拠点施設として活用			
・旧耳成高校:大規模農産物直売所を中心とした民間施設を誘致			
・未利用県有地の売却:407百万円(南紀寺職員住宅、橿原職員住宅)			
【中南和・東部地域の振興】			
(1)中南和・東部地域の振興方策の推進			
・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・			24
・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・			30
・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・			-
振興課」を設置[県庁力]			
(2) 地域産業の振興と安定した就労の場の確保			
・京奈和自動車道(仮称)橿原南・御所IC周辺産業用地調査の実施(再掲)			46
・農林業の振興に向けた諸施策の推進(取組内容は、「農林業の振興」に記載)			_
(3) 安全・安心で快適な生活環境の整備			
生活対策の推進			
・山間地域ケーブルテレビ施設整備の推進			20
・携帯電話不感地域解消の促進			22
・広域的・幹線的バス路線確保等			244
・過疎地域の移動手段確保に向けた通院バスの運行(十津川村〜五條市)			7

事業名及び事業内容	事	業	費			
・劉地域での見守り機能を併せ持つ高齢者の居場所づくりの整備(再掲)			403			
・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・						
・宇陀市室生区への県営水道給水に向けた拡張工事実施等						
南和地域の医療提供体制の充実						
・県と関係市町村による協議会において今後の医療提供体制等のあり方について検討・			36			
協議						
・へき地勤務医確保に向けた奨学金の貸付(再掲)			161			
道路整備の推進						
・供用目標宣言路線、重点整備宣言箇所の整備推進						
・「なら安心みちネットプラン」に基づく安全な通行の確保						
(4) 地域資源を活用した観光・交流・定住の促進						
・中南和の観光魅力の創出(圗空家等を活用した地域活性化拠点づくり、旅行商品の創			15			
出等)						
・中南和観光情報の発信			47			
・弘法大師の道(吉野山金峯山寺~高野山金剛峯寺)の魅力発掘			4			
・三重・和歌山と連携した「吉野・高野・熊野の国」共同事業の推進			5			
・「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の世界遺産登録に向けた取組の推進			11			
・史跡・名勝飛鳥京跡苑池の復原整備に向けた基本構想策定・用地取得等(再掲)			198			
・明日香等の歴史展示の推進(再掲)			27			
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			2			

[主な事業を記載しています]

# Ⅱ 平成22年度下半期の財政状況

### 1 一般会計補正予算の概要

前回公表しましたとおり、平成22年度の一般会計の歳入歳出予算額は、平成22年9月30日現在、前年度からの予算繰越額も含め、4,952億719万7千円でしたが、その後における平成22年度予算の補正状況は、第8表のとおりです。

その主な内容は、次のとおりです。

## (1) 11月定例議会補正予算(当初提案)

増額補正については、依然として厳しい経済・雇用情勢への対応や、その他緊急に措置を必要とする経費について、34億1,870万円を増額しました。

減額補正については、給与等の改定に伴う減により、16億1,304万円を減額しました。

(単位:千円)

	区	分	補	正	額	主		な	内	容
1	観光の振興	ļ.		1,	, 556	観光素材	魅力発	見事業		1,556
2	県内消費の 雇用対策	拡大と		999	, 127	業			ミアム商品	69, 300
									身例基金積立。 計策市町村補助	882, 200
						緊急雇用 県立大学 県立学校	創出市:就業力	町村補助 育成支援	<b>力金</b>	3, 990 22, 240 19, 897 1, 500
3	農林業の振	興		2,	, 250	農地リフ	レッシ	ュ事業		2, 250
4	医療の充実	[		2,	, 957	救急搬送	・受入	実施基準	進軍用事業	2, 957
5	福祉の充実			170,	, 602	介護基盤	緊急整	備等支援	是基金積立金	170, 602
6	安全・安心	の確保		15,	, 138	安全安心	まちづ	くり活動	力支援事業	15, 138
7	くらしやすまちづくり			3,	, 300	古都法買森林病害			以防除事業	1,700 1,600
8	効率的・効 基盤整備	果的な		779,	, 330	道路改良 橋りよう 地すべり	補修事			490, 700 109, 400 32, 200

		街路改良事業   直轄道路事業費負担金	53, 700 93, 330		
0 7.00 lb	1 444 440		·		
9 その他	1, 444, 440	知事及び県議会議員選挙執行経費奈良まほろば館管理運営事業	268, 300 46, 111		
		高等学校施設関連事業財政調整基金積立金	29 1, 130, 000		
増額補正計	3, 418, 700				
減額補正	△1, 613, 040	特別職及び一般職の職員の給与等改定 △1,613,040			

# (2) 11月定例議会補正予算(追加提案)

国の緊急総合経済対策にかかる補正予算が成立したことを受け、本県でもこれを積極的に活用して、県政諸課題に対応することとし、43億6,667万2千円を増額補正しました。

(単位:千円)

区 分	補 正 額	主 な 内 容
1 観光の振興	22, 600	点字観光ガイドブック作成事業 1,800 AR技術を活用した観光促進モデル事業 5,000 法隆寺iセンター情報発信強化事業 2,600 文化施設地上デジタル放送視聴環境の整備 13,200
2 雇用対策	882, 200	緊急雇用創出事業臨時特例基金積立金 882,200
3 農林業の振興	540, 822	県営ほ場整備事業37,500奈良東部広域農道整備事業310,800基幹農道整備事業5,355林道整備事業112,167治山事業63,000低コスト集約化施業研修事業2,000有害獣捕獲新型装置導入支援事業10,000
4 福祉の充実	79, 100	県立障害福祉施設整備 79,100
5 くらしやすい まちづくり	307, 500	地域での花いっぱい運動支援モデル事業 15,700

		花の植栽推進事業 高齢者外出サポート整備 自転車道整備	9, 700 3, 000 50, 000
		阪奈道路リフレッシュ事業 飛鳥川川辺の環境整備	30, 000 50, 000
		たら川川辺の泉境監備   吉野川清流復活事業	50,000
		大和水流復活事業	94, 000
		図書情報館地域連携事業	2, 300
		吉野熊野国立公園緊急修繕	2, 800
6 効率的・効果的な 基盤整備	2, 367, 550		
(1) 道路·街路	1, 462, 950	道路改良事業	1, 106, 150
		橋りよう補修事業	20, 900
		街路改良事業	251, 300
		交通安全施設整備事業	84, 600
(2) 河川・砂防	738, 300	河川改良事業	379, 600
		総合治水対策事業	41,000
		通常砂防事業	56, 700
		地すべり対策事業	52,600
		急傾斜地崩壊対策事業	155, 900
		白川ダム堰堤改良事業	52, 500
(3) 公園	166, 300	奈良公園施設魅力向上事業	166, 300
7 県民サービスの向上・	166, 900	女性センター施設整備	6, 700
施設の機能向上		佐藤薬品スタジアム(橿原公苑野球	求場) 施設
		整備	78,000
		馬場馬術競技馬購入補助	9,000
		うだ・アニマルパーク活性化整備	15, 000
		安全・安心の確保	58, 200
		保健所設備整備   保健環境研究センター設備整備	
		保健環境研究センター設備整備   食品衛生検査所設備整備	
		農業総合センター設備整備	
増額補正計	4, 366, 672		

# (3) 2月定例議会補正予算(当初提案)

経済対策や地域の活性化等に役立てるため、国の緊急総合経済対策補正予算を活用し、56億 3,277万1千円を増額補正しました。

(単位:千円)

	区 分	補 正 額	主	な	内	容	
1 地 事	域活性化交付金活用 業	1, 941, 361					
(1)	地域産業の支援・創出	511, 500	(仮称)奈良県プレミアム商品券発行事業 384,000				
	円 県内消費の拡大		   緊急奈良県	貿易実態調査	<b>*</b>	3, 500	
				企業技術支持		94, 000	
					見・創出事業	30, 000	
(2)	農林業の振興	88, 152	うだ・アニ	マルパーク	舌性化整備	75, 952	
			畜産技術セ	ンター研究権	幾器整備	7, 300	
			家畜保健衛	生所病性鑑定	定機器整備	1, 300	
			森林技術セ	ンター研究権	幾器等整備	3,600	
(3)	健康づくりの推進 医療・福祉の充実	19, 796		支援体制強化 援センター村	上事業 目談機能強化 <sup>-</sup>	10,000 事業	
						2,800	
			DV防止啓	発素材等の作	作成配布事業	5, 300	
			結核予防事	業		1, 696	
(4)	学びの支援	732, 958	東アジアサ	マースクーノ	レ企画運営事	業 51,000	
			ニート・ひ	きこもり訪問	問支援事業	1,500	
			図書情報館	オープンシブ	アター事業	1,440	
			図書情報館	資料整備		190, 200	
			県立大学環	境整備		10,640	
			県立学校図	書の充実		66,000	
			高等学校施	設整備改修	・充実	228, 127	
			高等学校実	験実習設備塾	<b></b>	35,000	
			特別支援学	校施設設備團	<b>Ě</b> 備	99, 851	
			橿原考古学	研究所施設記	投備整備	49, 200	
(5)	安全・安心の確保	340, 283	交通安全施	設老朽化対策	<b></b>	297, 243	
			防災行政無	線管理運営	事業	42, 300	
			犯罪被害者	支援体制の引	<b>鱼化</b>	740	
(6)	景観・環境の保全	65, 000	奈良の景観	創造事業(礼	でいっぱい推	進事業)	
	くらしやすいまち					40,000	

がくり 協働の推進		(仮称) まちまるごとアート・フラワーフェスティバル事業10,000公害測定機器整備10,000(仮称) 協働推進センター整備事業5,000
(7) 県有施設の整備・ 改修	183, 672	
① 文化施設などの 集客施設整備	145, 742	文化会館、橿原文化会館、新公会堂、民俗博物館
② 県民利用施設等	37, 930	社会福祉総合センター、社会教育センター、 警察施設
2 国補正を活用した基金の造成または積み増し	3, 584, 862	緊急雇用創出事業臨時特例基金積立金 59,641 障害者自立支援対策等臨時特例基金積立金 43,690 介護基盤緊急整備等支援基金積立金 697,914 安心こども基金積立金 499,867 医療施設耐震化促進基金積立金 847,578 自殺対策緊急強化基金積立金 9,240 妊婦健康診査支援基金積立金 70,944 子宮頸がん予防ワクチン等接種緊急促進基金 積立金 1,206,988 新しい公共支援基金積立金 139,000 森林整備加速化・林業再生基金積立金 10,000
3 その他	106, 548	子宮頸がん予防ワクチン等接種事業 101,271 介護職員等のたん吸引等研修体制整備事業 5,277
増額補正計	5, 632, 771	

### (4) 2月定例議会補正予算(追加提案)

増額補正については、生活保護費、介護給付費負担金、国民健康保険基盤安定化事業など現計予算では不足が生じている福祉・医療関係経費等について増額するとともに、県立医科大学及び県立病院施設整備基金等への積み立て、県債の繰り上げ償還などを行うため、133億5,442万円を増額しました。

減額補正については、事業の年度内の執行を見通して、78億7,300万円を減額しました。

(単位:千円)

区分	補	正	額	主	な	内	容	
増額補正	13	, 354	, 420	私立高等学校等就	学支援事業		1	65, 000
				ふるさと応援基金	積立金			3,000
				地域振興基金積立	金		1	00,000
				社会福祉施設等整	備基金積立	金	1	11,000
				長寿社会福祉基金	積立金			2,000
				生活保護費			3	58,000
				障害者自立支援介	護給付事業		1	66, 000
				障害者自立支援訓	練等給付事	業		62,000
				介護給付費負担金			2	25, 000
				国民健康保険基盤	安定化事業		2	34, 000
				後期高齢者医療給	付事業		5	09,000
				母子寡婦福祉資金	貸付金特別	会計繰出金		7, 400
				協働推進基金積立	金			5,000
				土木施設関連事業				7,020
				県税交付金			4	00,000
				公債費			3, 0	00,000
				奈良県立医科大学	及び県立病	院施設整備	基金積立金	
							5, 0	00,000
				財政調整基金積立	金		3, 0	00,000
減額補正	△ 7	, 873	, 000	参議院議員選挙執	行費		△1	20,000
				地域総合整備資金	貸付金		$\triangle 5$	00,000
				学研高山第2工区	まちづくり	検討事業	$\triangle$	23, 700
				奈良県先端的研究	支援事業		$\triangle 1$	30,000
				中国陝西省との友	好提携推進	事業	۷	∆9, 300
				生活保護就労支援	事業		$\triangle$	74,000
				住宅手当緊急特別	措置事業		$\triangle 4$	57,000
				公営住宅間仕切り	設備整備補	助事業	$\triangle$	76, 500
				介護就労お助け事	業		$\triangle 1$	44,000
				障害者自立支援特	別対策事業		$\triangle$	63,000
				介護職員処遇改善	事業		$\triangle 3$	12,000
				介護職員人材育成	事業		$\triangle 1$	85,000
				介護基盤緊急整備	特別対策事	業	$\triangle 5$	95, 000
				介護施設開設準備	経費助成特	別対策事業	$\triangle 3$	71,000
				国民健康保険特定	健康診査・	特定保健指	導負担金	
							$\triangle 1$	30,000
				地域子育て創生事	業		$\triangle$	29,000
				安心子育て支援対	策事業		$\triangle$	77,000
				ひとり親家庭支援	事業		$\triangle 1$	02,000
				医療施設耐震化促	進事業		$\triangle 1$	37, 271

がん診療施設・設備整備事業	$\triangle 34,756$
妊婦健康診査支援事業	△170, 084
奈良県民間事業者省エネ・グリーン化推進事業	\$ △90,000
企業立地促進補助事業	△600 <b>,</b> 000
県営ほ場整備事業	△204 <b>,</b> 000
国営第二十津川紀の川土地改良事業費負担金	△102, 000
国営農業用水再編対策事業費負担金	△428, 000
中山間地域等直接支払事業	△62, 611
中山間地域等直接支払制度基金造成事業	△203, 647
県産材流通加工施設整備事業	$\triangle 247,509$
緑の産業再生プロジェクト事業	△112, 622
受託事業	△240, 000
退職手当	△1, 392, 000
県税還付金	△450, 000

## 2 特別会計補正予算の概要

平成22年度の特別会計の歳入歳出予算額は、平成22年9月30日現在、1,446億72万4千円でしたが、その後の平成22年度予算の補正の状況は第9表のとおりであり、その内容は次のようになっています。

## 2月定例議会補正予算(追加提案)

母子寡婦福祉資金貸付金特別会計において、財源更正を行いました。また公債管理特別会計において、繰上償還を行うため、30億円を増額補正しました。

#### 第8表 平成22年度一般会計予算の推移

(歳 入)

成 22 年 度 平 成 21 年 度 増 減 率 区 分 上半期予算額11月定例議会11月定例議会2月定例議会2月定例議会3月定例議会最終予算額 最終予算額 (A) - (B)構成比 構成比 (B) 平成22年9月30日現在 補 正 予 算 額補 正 予 算 額(追加)補 正 予 算 額補 正 予 算 額(追加) (A) (B) 1 県 税 100, 600, 000 2,000,000 102, 600, 000 108, 900, 000 20.0 20.0  $\triangle$  5.8 2 地方消費税 1, 200, 000 21,662,000 23, 284, 000 20, 462, 000 4.2 4.3  $\triangle$  7.0 清 算 金 3 地方譲与税 14, 050, 000 14, 050, 000 2.7 8, 018, 000 1.5 75. 2 4 地方特例 23.1 1,600,000 0.3 1, 300, 000 0.21,600,000 交付金 5 地方交付税 133, 800, 000 7,697,310 141, 497, 310 27.6 131, 240, 963 24.1 7.8 6 交通安全対策 420,000 420,000 420,000 0.1 0.00.1 特別交付金 7 分担金及び 1, 254, 587 55, 121 1, 309, 708 0.3 2,616,572 0.5  $\triangle$  49. 9 負 担 金 8 使用料及び 6,041,568 6,041,568 1.2 8,656,387 1.6 △ 30.2 手 数 料 9 国庫支出金 76, 462, 547 1, 171, 601 2, 954, 575 5,600,800  $\triangle$  7, 739 86, 181, 784 16.8 125, 851, 134 23.1  $\triangle$  31.5 10 財産収入 1, 721, 103 2,626 2, 200  $\triangle$  173 1, 725, 756 0.3 2, 050, 525 0.4  $\triangle$  15.8 11 寄 附 金 10,000 825, 100 0.2 532, 100 0.1 815, 100 55. 1 12 繰 入 金 22, 029, 879  $\triangle$  3, 198, 951 18, 983, 530 3.7 51, 331 101, 271 13, 149, 675 2.4 44. 4 13 繰 越 金 4, 556, 013 83,691 7, 176 △ 69,300 546, 973 5, 124, 553 3, 039, 654 0.6 68.6 1.0 14 諸 収 入 46, 111 2.9  $\triangle$  22.6 12, 464, 900 △ 344,000 12, 167, 011 2.4 15, 721, 115 15 県 債  $\triangle$  2, 422, 000 98, 929, 500 450, 300 1, 347, 600 98, 305, 400 19.2 99, 212, 900 18.2  $\triangle$  0.9 合 計 495, 207, 197 1,805,660 4, 366, 672 5, 632, 771 5, 481, 420 512, 493, 720 100, 0 543, 993, 025 100. 0  $\triangle$  5.8

(歳 出)

					平 成	22	年 度					F 度	増 減 率
	区	分	上半期予算額 (平成22年9月30日現在)	11月定例議会補正予算額	11 月 定 例 議 会 補正予算額(追加)	2月定例議会補正予算額	2 月 定 例 議 会補正予算額(追加)	予 備 費 充 用 額	最終予算額 (A)	構成比	最終予算額 (B)	構成比	(A) - (B) (B)
1	議	会 費	1, 183, 551	△ 11, 289					1, 172, 262	0. 2		% 0. 2	% △ 0.7
2	総	務費	31, 153, 707	1, 341, 468		126, 292	1, 798, 000	9, 000	34, 428, 467	6. 7	35, 896, 578	6.6	△ 4.1
3	地填	或振興費	14, 185, 341	22, 199	24, 900	304, 390	△ 563,000		13, 973, 830	2. 7	13, 779, 544	2.5	1. 4
4	健原	表福 祉費	70, 206, 236	141, 948	79, 100	1, 339, 559	△ 941, 100		70, 825, 743	13.8	77, 824, 353	14.3	△ 9.0
5	医师	療政策費	16, 549, 364	△ 27, 288	5, 700	2, 237, 717	4, 657, 889		23, 423, 382	4. 6	26, 860, 539	4.9	△ 12.8
6	くら	し創造費	6, 516, 970	△ 19, 109	154, 200	160, 800	△ 85,000		6, 727, 861	1. 3	6, 378, 759	1.2	5. 5
7	雇月	用政策費	4, 209, 537	903, 910	882, 200				5, 995, 647	1. 2	7, 701, 435	1.4	△ 22.1
8	農林	水産業費	19, 550, 469	△ 44,897	566, 322	98, 152	△ 1,360,389	85, 000	18, 894, 657	3. 7	22, 114, 510	4. 1	△ 14.6
9	産業	業振 興 費	5, 272, 046	58, 977		511, 500	△ 600,000		5, 242, 523	1.0	6, 809, 885	1.3	△ 23.0
10	土	木	77, 514, 538	702, 528	2, 654, 250	50, 000	△ 232, 980		80, 688, 336	15.8	93, 835, 280	17.2	△ 14.0
11	警	察費	29, 315, 154	△ 242, 574		301, 893	△ 284,000		29, 090, 473	5. 7	30, 601, 669	5.6	△ 4.9
12	教	育 費	120, 341, 119	△ 1,020,213		502, 468	△ 308,000		119, 515, 374	23. 3	122, 201, 620	22.5	△ 2.2
13	災害	害復 旧費	1, 956, 851						1, 956, 851	0.4	1, 909, 656	0.4	2. 5
14	公	債 費	74, 979, 414				3, 000, 000		77, 979, 414	15. 2	72, 863, 604	13.4	7.0
15	諸	支 出 金	22, 172, 900				400, 000		22, 572, 900	4. 4	23, 935, 600	4.4	△ 5.7
16	予	備費	100, 000					△ 94,000	6, 000	0.0	100, 000	0.0	△ 94.0
	合	計	495, 207, 197	1, 805, 660	4, 366, 672	5, 632, 771	5, 481, 420	0	512, 493, 720	100.0	543, 993, 025	100.0	△ 5.8

# 第9表 平成22年度特別会計予算の推移

					(中四・111)
Γ Λ.	平 厉		年 度	平 成 21 年 度 最 終 予 算 額	増 減 率 (A) – (B)
区 分	上 半 期 予 算 額 (平成22年9月30日現在)	2 月 定 例 議 会 補正予算額(追加)	最終予算額 (A)	最終予算額(B)	(B)
公立大学法人奈良県立医科大学関係経費	6, 307, 000		6, 307, 000	7, 229, 000	△ 12.8 <sup>%</sup>
奈良県営競輪事業費	16, 344, 000		16, 344, 000	15, 246, 000	7.2
奈良県観光自動車駐車場費	366, 000		366, 000	363, 000	0.8
奈 良 県 母 子 寡 婦 福 祉 資 金 貸 付 金	120, 300		120, 300	128, 100	△ 6.1
奈良県農業改良資金貸付金	298, 300		298, 300	503, 000	△ 40.7
奈 良 県 中 小 企 業 振 興 資 金 貸 付 金	890, 524		890, 524	2, 530, 000	△ 64.8
奈 良 県 証 紙 収 入	5, 100, 000		5, 100, 000	5, 431, 000	△ 6.1
奈良県流域下水道事業費	12, 281, 300		12, 281, 300	14, 044, 700	△ 12.6
奈良県林業改善資金貸付金	124, 700		124, 700	424, 700	△ 70.6
奈良県中央卸売市場事業費	1, 048, 500		1, 048, 500	1, 098, 200	△ 4.5
奈 良 県 公 債 管 理	101, 449, 000	3, 000, 000	104, 449, 000	120, 662, 000	△ 13.4
奈良県育成奨学金貸付金	271, 100		271, 100	252, 500	7. 4
合計	144, 600, 724	3, 000, 000	147, 600, 724	167, 912, 200	△ 12.1

# 3 一般会計予算の執行状況

平成22年度一般会計予算の平成23年3月31日現在の執行状況は、第10表のとおりです。

# 第10表 平成22年度一般会計の執行状況

(歳 入) (単位:千円)

	区		分		最終予算額	平成23年3	月 31 日 現 在
			Ŋ		双 心 了 异 识	収入済額	収入割合
1	県			税	102, 600, 000	98, 828, 804	% 96. 3
2	地方	消費税	清 算	金	21, 662, 000	21, 749, 752	100. 4
3	地	方 譲	与	税	14, 050, 000	15, 556, 335	110. 7
4	地力	万特例	交 付	金	1,600,000	1, 697, 178	106. 1
5	地	方 交	付	税	141, 497, 310	143, 776, 450	101.6
6	交通短	安全対策特	別交付	金	420,000	443, 222	105. 5
7	分 担	金及び	負 担	金	1, 309, 708	1, 042, 954	79. 6
8	使 用	料及び	手 数	料	6, 041, 568	4, 476, 582	74. 1
9	国	庫 支	出	金	86, 181, 784	66, 321, 650	77. 0
10	財	産	仅	入	1, 725, 756	820, 109	47. 5
11	寄	附		金	825, 100	409, 529	49. 6
12	繰	入		金	18, 983, 530	2, 072, 660	10.9
13	繰	越		金	5, 124, 553	5, 124, 553	100.0
14	諸	収		入	12, 167, 011	7, 908, 547	65. 0
15	県			債	98, 305, 400	39, 155, 500	39. 8
	合		計		512, 493, 720	409, 383, 825	79. 9

	区		分	最終予算額	平成23年3	月 31 日 現 在
	<u> </u>		74		支出済額	支出割合
1	議	会	費	1, 172, 262	1, 138, 937	% 97. 2
2	総	務	費	34, 428, 467	25, 822, 676	75. 0
3	地	域 振	興 費	13, 973, 830	9, 567, 998	68. 5
4	健	康福	祉 費	70, 825, 743	48, 607, 817	68. 6
5	医	療 政	策 費	23, 423, 382	21, 239, 782	90. 7
6	<	ら し 創	造 費	6, 727, 861	4, 973, 237	73. 9
7	雇	用政	策費	5, 995, 647	2, 765, 128	46. 1
8	農	林 水 産	業費	18, 894, 657	12, 287, 908	65. 0
9	産	業振	興 費	5, 242, 523	3, 602, 733	68. 7
10	土	木	費	80, 688, 336	50, 367, 700	62. 4
11	警	察	費	29, 090, 473	25, 151, 219	86. 5
12	教	育	費	119, 515, 374	101, 701, 928	85. 1
13	災	害 復	旧費	1, 956, 851	545, 379	27. 9
14	公	債	費	77, 979, 414	77, 863, 778	99. 9
15	諸	支出	出金	22, 572, 900	22, 469, 589	99. 5
16	予	備	費	6,000	0	0.0
	合		計	512, 493, 720	408, 105, 809	79. 6

# 4 特別会計予算の執行状況

平成22年度特別会計予算の平成23年3月31日現在の執行状況は、第11表のとおりです。

# 第11表 平成22年度特別会計予算の執行状況

											( -	<u></u> 単似	·   [	1)
区	分	最終予算額		平	成	23	年	3	月	31	日	現	在	
	カ	取於了异似	収	入	済	額	割	合	支	出	済	額	割	合
公立大学法》 医科大学		6, 307, 000		4	, 981	, 070	79	% 9. 0		6	, 116	, 670	97	% 7. 0
奈良県営競	輪事業費	16, 344, 000		14,	, 593,	, 544	89	9. 3		15	, 415	, 780	94	. 3
奈 良 県 観 i 駐 車	光 自 動 車 場 費				367,	, 296	100	). 4			51	, 653	14	. 1
奈良県母福祉資金					93,	, 393	77	7.6			101	, 505	84	. 4
奈良県農業貸 付		/48 300			262,	, 295	87	7.9			35	, 189	11	. 8
奈良県中振興資金				1,	, 579,	, 194	177	7.3			440	, 870	49	5. 5
奈 良 県 証	紙収入	5, 100, 000		4,	, 890,	, 647	95	5. 9		3	, 395	, 271	66	5. 6
奈良県流 <sup>5</sup> 事 業				10,	755,	, 115	87	7.6		8	, 001	, 129	65	5. 1
奈良県林業 貸 付		124, 700			329,	, 928	264	1.6				0	0	0.0
奈良県中央 事 業					976,	, 070	93	3. 1			771	, 869	73	6.6
奈 良 県 公	債 管 理	104, 449, 000		101,	754,	, 274	97	7.4		101	, 754	, 274	97	. 4
奈良県育月貸 付		/// ///			744,	, 764	274	1. 7			226	, 679	83	6.6
合	計	147, 600, 724		141,	, 327,	, 590	95	5. 7		136	, 310	, 889	92	2. 4

# Ⅲ 公営企業の業務状況

#### 1 水道用水供給事業

水道用水供給事業は現在、大和平野等の24市町村に対し、紀の川水系の津風呂ダム及び大迫ダム並びに宇陀川水系の室生ダムを水源として用水を供給しており、さらに渇水や災害時の送水系統間の水融通機能強化を図り、今後の水需要に対応していくため、紀の川水系の大滝ダム等を水源とする拡張事業を推進しています。

#### 第1 事業の概要

1 施設の概要

施設の概要は、次表のとおりです。

10/11/24 1 10	NA 1 NA 1 400 000 3/1	/hn=<->h	24 L Mr. L 3 / H
桜井浄水場	浄水能力 138,200㎡/日	御所浄水場	浄水能力 394,800㎡/日
施設	規規模	施設	規   模
粉末活性炭注入設備	**	沈 砂 池	2 池 932 m³
原水貯留池	2 池 20,283 m³	薬 品 注 入 井	1 池 129 m³
生物接触ろ過池	8 池 659 m²	着 水 井	2 池 1,182 m³
生物接触ろ過排水池	1 池 790 m³	混 和 池	9 池 381 m³
着水井	1 井 245 m³	フロック形成池	9 池 9,117 m³
混 和 池	4 池 204 m³	薬品沈でん池	9 池 27,658 m³
フロック形成池	4 池 3,648 m³	排水処理設備排水池	4 池 4,748 m³
薬品沈でん池	4 池 6,272 m³	排水処理設備排泥池	4 池 3,442 m³
中塩素混和池	4 池 592 m³	排水処理設備濃縮槽	4 池 4,576 m³
排水処理設備排水池	2 池 2,480 m³	急 速 ろ 過 池	28 池 3,672 m²
排水処理設備排泥池	2 池 1,442 m³	滅  菌  井	3 池 1,194 m³
排水処理設備濃縮槽	2 池 2,592 m³	浄 水 池	9 池 45,506 m³
急 速 ろ 過 池	12 池 1,205 m²		
オゾン設備	一式	ポンプ薬注棟	地下2階 地上1階
滅  菌  井	1 井 587 m³		延床面積 5,020 ㎡
浄 水 池	6 池 19,063 m³		地下1階 地上2階
	地下1階 地上2階	電気棟	延床面積 1,418 ㎡
管 理 本 館	鉄筋コンクリート造		
	延床面積 2,045 ㎡		地下2階 地上3階
	地上3階	管 理 本 館	地下1階 地上2階 鉄筋コンクリート造
水質検査設備	■ 鉄筋コンクリート造		延床面積 4,172 m <sup>2</sup>
	延床面積 2,101 m²		, , ,
水道管:	理 センター	下市	取 水 場
監視制御装置	一式	沈 砂 池	6 池 6,306 m³
情報 伝送 設備		汚 泥 濃 縮 槽	1 基 362 m³
データ処理設備		取 水 暗 渠	 延長 153 m
ポンプ設備			
管 理 本 館	地下2階 地上2階	管 理 本 館	地下3階 地上3階 鉄筋コンクリート造 延床面積 7,321㎡
		/ <del>J; </del>	93年3日31日租左)

(平成23年3月31日現在)

# 2 業務の概要

平成22年度下半期(平成22年10月1日から平成23年3月31日まで)の業務の概要は、次のとおりです。

# (1) 営業の概要

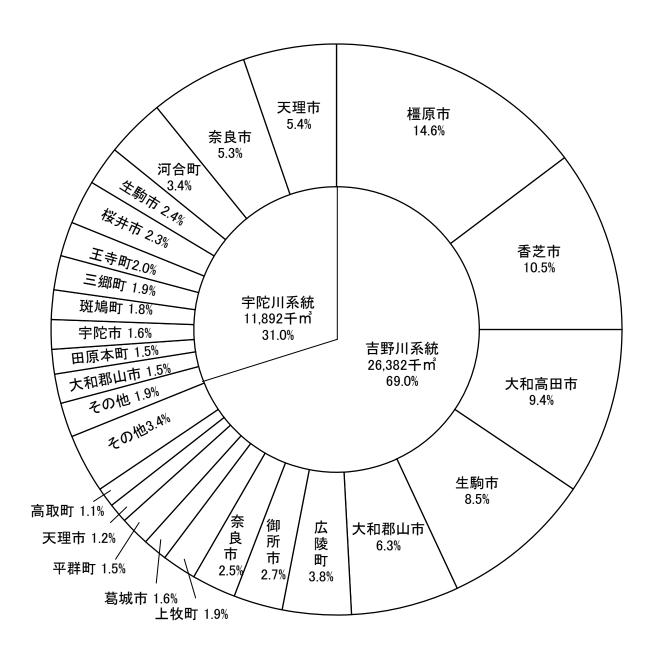
当期における給水量は、次表のとおりです。

(単位·m³)

			(単位: m³)
宇陀	川系統	吉 野	川系統
市町村名	水 量	市町村名	水 量
奈 良 市	2, 030, 162	奈 良 市	945, 435
大和郡山市	560, 515	大和高田市	3, 608, 700
天 理 市	2, 082, 061	大和郡山市	2, 426, 338
桜 井 市	864, 622	天 理 市	456, 078
生 駒 市	904, 114	橿原市	5, 567, 007
宇 陀 市	623, 180	桜 井 市	125, 517
平 群 町	330, 344	御所市	1, 019, 476
三 郷 町	738, 890	生 駒 市	3, 254, 525
斑鳩町	704, 013	香芝市	4, 013, 431
安 堵 町	158, 750	葛 城 市	621, 705
田原本町	584, 052	平 群 町	576, 073
上 牧 町	239, 744	三 郷 町	115, 264
王 寺 町	751, 713	斑鳩町	296, 011
広 陵 町	12, 387	川 西 町	208, 101
河 合 町	1, 307, 189	三 宅 町	89, 450
		田 原 本 町	145, 293
		高 取 町	399, 978
		明 日 香 村	291, 038
		上 牧 町	735, 669
		王 寺 町	13, 091
		広 陵 町	1, 451, 660
		河 合 町	22, 731
計	11, 891, 736	計	26, 382, 571

合 計 38,274,307 m3

# 平成22年度下半期給水量の状況



#### 吉野川系統 その他(3.4%)

斑鳩町0.8% 明日香村0.8% 川西町0.5% 田原本町0.4% 桜井市0.3% 三郷町0.3% 三宅町0.2% 河合町0.1%

#### 宇陀川系統 その他(1.9%)

平群町0.9% 上牧町0.6% 安堵町0.4%

(注 給水量の構成率は、小数点以下第2位を四捨五入したものである。)

#### (2) 建設工事の概要

平成22年度において施工したものは、次表のとおりです。

区分	主 な 事 業 内 容	金額
浄水設備工事	御所浄水場原水 p H調整施設設置工事 御所浄水場次亜塩素注入設備工事 桜井浄水場浄水池耐震補強工事 等	千円 1,330,646
送水設備工事	電気防食施設改良工事(梨本外電) 水管橋落橋対策工事 2次給水栓整備工事 等	199, 460

#### (3) 決算見込み

平成22年度の決算見込は、次表のとおりです。

(単位:千円)

区	分	現 計 予 算 額	決算見込額
収益的収支	事業収益	11, 717, 312	11, 647, 395
4X 112 113 4X X	事 業 費	11, 930, 231	11, 040, 097
資本的収支	資本的収入	3, 185, 401	1, 538, 356
	資本的支出	11, 510, 955	9, 753, 506

資本的収入の決算見込額が、資本的支出の決算見込額に不足する額 8,215,150千円は、当年度 消費税及び地方消費税資本的収支調整額 111,534千円、減債積立金 1,140,000千円、損益勘定留保 資金 6,963,616千円で補填します。

# 第2 経 理 の 状 況

平成22年度末における経理の状況は、次の残高試算表のとおりです。

残 高 試 算 表 (平成23年3月31日)

	残 高 試 算 表 (平成23年3月31日)	(単位:千円)
借方残高	勘定科目	貸方残高
201, 532, 599	(資産の部)	
183, 626, 643	固定資産	
137, 434, 780	有形固定資産	
46, 159, 363	無形固定資産	
32, 500	投資	
17, 905, 956	流動資産	
16, 602, 274	現 金 預 金	
897, 185	未 収 金	
66, 031	貯 蔵 品	
340, 466	前 払 金	
	(負債の部)	9, 001, 822
	固定負債	7, 740, 477
	引 当 金	7, 740, 477
	流動負債	1, 261, 345
	未 払 金	1, 201, 982
	未払費用	50, 798
	その他流動負債	8, 565
	(資本の部)	192, 036, 419
	資本金	122, 427, 808
	自己資本金	59, 477, 450
	借入資本金	62, 950, 358
	剰 余 金	69, 608, 611
	資 本 剰 余 金	64, 317, 468
	利益剰余金	5, 291, 143
	(収益の部)	11, 097, 010
	用水供給事業収益	11, 097, 010
	営 業 収 益	11, 007, 442
	営業外収益	89, 568
10, 602, 652	(費用の部)	
10, 602, 652	用水供給事業費用	
7, 817, 118	営業費用	
1, 464, 273	営業外費用	
1, 321, 261	特別損失	
212, 135, 251	合計	212, 135, 251

# 残 高 試 算 図

(平成23年3月31日)

[212, 135百万円]

(単位:百万円)

有形固定資産 137,435(64.8%)	固定資産 183,627(86.6%)
無形固定資産等 46,192(21.8%)	
預金 16,602(7.8%) 未収金・その他 1,304(0.6%)	流動資産 17,906(8.4%)
営業費用 7,817(3.7%) 営業外費用 1,464(0.7%) 特別損失 1,321(0.6%)	用水供給事業費用 10,602(5.0%)

	(十日:日751 1/
固定負債 7,740(3.6%)	引当金 7,740(3.6%)
流動負債 1,261(0.6%)	未払金等 1,261(0.6%)
	自己資本金 59,478(28.0%)
資本金 122,428(57.7%)	
	借入資本金 62,950(29.7%)
剰余金 69,609(32.8%)	資本剰余金 64,318(30.3%)
	利益剰余金 5,291(2.5%)
用水供給事業収益	営業収益 11,007(5.2%)
11,097(5.3%)	営業外収益 90(0.1%)

# 第3 平成23年度予算の概要及び経営方針

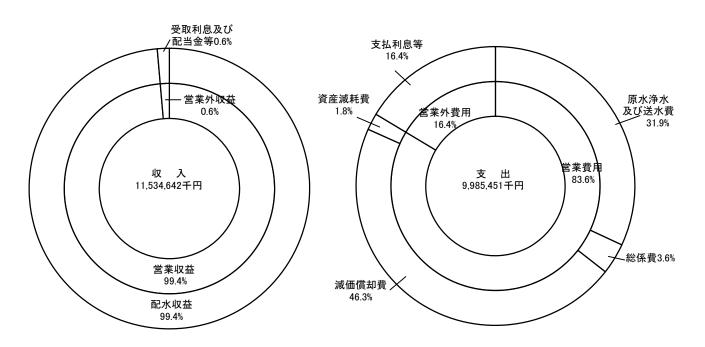
# 1 予算の概要

平成23年度奈良県水道用水供給事業費特別会計予算の概要は、次表のとおりです。

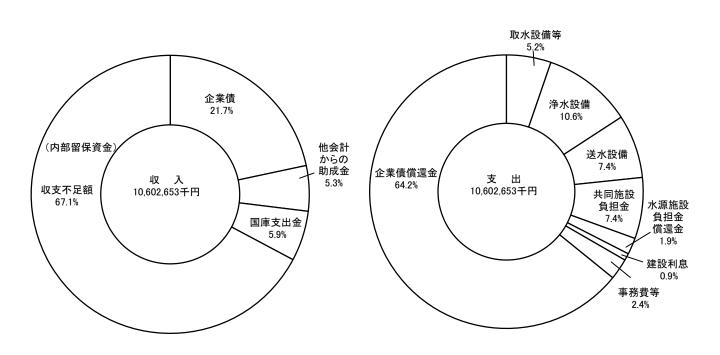
				(十四:111)
区分	科目	予算額	科目	予算額
	事業収益	11, 534, 642	事 業 費	9, 985, 451
収益的	営 業 収 益	11, 466, 049	営 業 費 用	8, 345, 912
収支	営業外収益	68, 593	営業外費用	1, 634, 539
			予 備 費	5, 000
	資本的収入	3, 486, 779	資本的支出	10, 602, 653
資 本 的	企 業 債	2, 304, 100	建設改良費	3, 784, 102
収支	他会計からの助成金	555, 900	企業債償還金	6, 805, 551
	国庫支出金	626, 749	国庫補助金等 返 還 金	13, 000
	雑   入	30		
企	:業債借入限	2, 304	, 100	
_	・時借入金借入队	2, 000	, 000	
た	な卸資産購入り	艮度額	578	, 721

# 平成23年度奈良県水道用水供給事業費特別会計予算の概要

# 収 益 的 収 支



# 資 本 的 収 支



#### 2 経 営 方 針

計

水道水

事

環境

業

吉野川)

查

(

調

県営水道においては、主要建設事業が終息に向かいつつあり、維持管理の時代を迎えようとしています。一方、少子高齢化時代の到来、ライフスタイルの変化、経済の停滞などにより、社会・経済情勢が変化し、水需要が大きく伸びることは期待できない状況となっています。このような経営環境の変化のなか、地方公営企業として「公共の福祉の増進」及び「独立採算性を堅持した事業運営」を推進するため、中長期的な観点から現状の分析・評価等を行い、計画的・対象的に経営を進めてまいります。また、平式29年度から平式202年度は100円である。100円である。100円である100円である。100円である100

計画的・効率的に経営を進めてまいります。また、平成22年度から平成24年度までの3年間、 暫定的に料金を5円値下げし、140円/m³といたしました。

施設整備においては、安全でおいしい水の安定供給を目指し、原水水質に応じた浄水処理施設の整備を行うとともに、災害時に備えて、水道施設の耐震化を進めます。 さらに、民間的経営手法の導入など経営効率化の推進、及び経営状況の公表などによる透明

性の高い企業経営の推進に努めます

本年度における給水事業及び水道施設拡張事業等の概要は、次表のとおりです。

(1)給 水 事 業				
収益		費	用	事業内容
配水収益	千円 11,466,000	維持管理費等	千円 3,843,294	給水団体 11市12町1村
その他	68, 642	支払利息	1, 342, 539	料金 1 4 0 円 / m <sup>3</sup>
		減価償却費	4, 799, 618	1 1 0   1 / m
				年間給水予定量

計

9, 985, 451

ほか

11, 534, 642

78,000千m<sup>3</sup>

3,000

(2) 県営水道施設の拡張、更新改良等 事 業 名 業 余 額 張 事 業 築 宇陀市室生ブランチ整備(②~⑤) 千円 拡 工(榛原調整池~榛原山辺三) 実施設計 (榛原山辺三~室生大野) 658,700 広域管理システム整備(②~②) 23 施 下市取水場粉末活性炭自動注入施設整備(②~②) 23) 施 県 営 水 道 既 存 施 設 下市取水場水処理設備更新 1,617,000 下市取水場無停電電源設備更新 更新改良事業 桜井浄水場直流電源装置改良 御所浄水場監視制御設備更新 御所浄水場脱水機設備更新

御所浄水場ポンプ棟電気設備更新

<u>(3) 水道施設におけ</u>	)震災対策	
事業名	事 業 内 容	金額
県営水道施計耐震化事	県営水道施設土木構造物耐震補強工事の実施 (⑬~㉕) ② 施 工 御所浄水場低区浄水池 実施設計 御所浄水場1系浄水池遮断弁設置	千円 82, 200

吉野川のカビ臭発生状況に関するデータの収集

#### 2 病院事業

病院事業はその基本方針である県民医療の普及向上と公共の福祉の増進を図るため、病院の施設及び医療機器の整備充実に努め、高度の診断能力を維持するとともに、患者サービスに万全を期するよう運営しています。

平成22年度は、奈良病院の「磁気共鳴画像診断装置」、三室病院の「デジタルX線画像診断システム」、五條病院の「ナースコールシステム」の更新等により検査・診断機能の充実を図り患者サービスの向上に努めました。

近年の病院事業を取り巻く環境が厳しさを増すなか、今後も公共性と経済性の調和を図りながら、病院の効率的かつ透明性の高い運営に努力し、地域医療の基幹病院として県民医療の一層の充実に努めます。

#### 第1 事業の概要

1 施設の概要 施設の概要は、次のとおりです。

	区 分	奈 良 病 院	三 室 病 院	五條病院
所	在 地	奈良市平松1丁目30番1号	生駒郡三郷町三室1丁目14番16号	五條市野原西5丁目2番59号
開	設年月日	昭和52年10月1日	昭和54年4月1日	昭和47年4月1日
		(旧病院 昭和39年4月1日)		
許	可病床数	430床(一般病床本院400	300床	199床
		床、救命救急センター30床)	(一般病床300床)	(一般病床199床)
		内科·神経内科·呼吸器内科	内科·消化器内科·循環器	内科·神経内科·小児科·外科
		·消化器内科·循環器内科·	内科·小児科·外科·整形外	·整形外科·脳神経外科·皮膚
診	療科目	小児科·外科·整形外科·脳	科·脳神経外科·心臟血管外	科·泌尿器科·産婦人科·眼科
		神経外科,呼吸器外科,皮膚	科·皮膚科·泌尿器科·産婦	·耳鼻咽喉科·放射線科·麻酔
		科·泌尿器科·産婦人科·眼	人科·眼科·耳鼻咽喉科· 放	科
		科·耳鼻咽喉科·放射線科·	射線科・麻酔科	
		麻酔科		
看	護基準	入院基本料	入院基本料	入院基本料
		一般病棟入院基本料	一般病棟入院基本料	一般病棟入院基本料
		(10:1入院基本料)	(10:1入院基本料)	(10:1入院基本料)
救急	急病院の告示	告 示	告 示	告 示
			病院敷地19,744㎡	病院敷地18,290㎡
敷	地面積	病院敷地45,091㎡	(うち借地2,271㎡)	(うち借地732㎡)
				住宅敷地3,519㎡
	病院本館	SRC地上7階地下1階	R C 地上6階地下1階	R C 地上4階地下1階
		延23, 156㎡	延18,796㎡	R C 地上6階地下1階
	救命救急	R C 地上2階		延12,580㎡
面	投票扱品センター	延2, 139 m <sup>2</sup>		
1	エネルキ゛ーセンター	R C地上2階		RC地上2階
	(機械室)	延1, 248㎡		延776㎡
	看護学校	R C地上3階一部5階	RC地上3階	RC地上4階
		延3, 482㎡	延2,888㎡	延3,359㎡
	看護師宿舎	R C地上4階(定員96名)	R C 地上3階(定員48名)	R C 地上3階(定員34名)
1≠	医低丛虫	延2,633㎡	延1,325 m <sup>2</sup>	延1,067㎡
積	医師住宅	R C 地上2階(8戸)	地上2階(6戸)	R C地上3階(18戸)
	職員住宅	延590㎡ RC地上2階(10戸)	延452㎡	延1,368㎡
	帆只压七	K C 地工2階 (10万) 延303㎡		
	その他	MR-CT棟ほか	延1, 226 m²	C T 棟ほか 延506㎡
	- ,—	延252㎡	,,	, p,
	合 計	延33, 803 m²	延24, 687 m²	延19,656㎡

(平成23年3月31日現在)

# 2 業務の概要

# (1) 事業の概要

平成22年度下半期(平成22年10月1日から平成23年3月31日まで)の事業概要は、次のとおりです。

# (ア) 外来診療状況

(単位:人)

	区			分		10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	計
奈	本	患	者	延	数	18, 493	18, 075	18, 329	17, 582	16, 849	20, 314	109, 642
良	院	1 目	平均	匀患を	皆数	925	904	965	925	887	923	921
病	救	患	者	延	数	11	6	13	7	6	13	56
院	命	1 目	平均	匀患を	皆数	1	1	1	1	1	1	1
三	室	患	者	延	数	13, 893	14, 022	13, 946	13, 728	13, 245	14, 971	83, 805
病	院	1 目	平均	匀患を	皆数	695	701	734	723	697	681	704
五.	條	患	者	延	数	6, 420	6, 282	6, 247	6,007	5, 890	6, 512	37, 358
病	院	1 目	平均	匀患を	皆数	321	314	329	316	310	296	314
台	ì	患	者	延	数	38, 817	38, 385	38, 535	37, 324	35, 990	41, 810	230, 861
計	-	1 目	平均	匀患を	皆数	1, 941	1, 919	2, 028	1, 964	1,894	1, 900	1, 940

# (イ) 入院診療状況

(単位:人)

	区			分		10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	計
奈	本	患	者	延	数	8, 732	8, 360	8,664	8, 747	8, 068	8, 671	51, 242
良	院	1	日平均	匀患る	者数	282	279	279	282	288	280	282
病	救	患	者	延	数	435	531	489	648	557	675	3, 335
院	命	1	日平均	匀患る	者数	14	18	16	21	20	22	18
三	室	患	者	延	数	7, 669	7,627	7, 988	7, 575	7, 326	8, 242	46, 427
病	院	1	日平均	匀患る	者数	247	254	258	244	262	266	255
五.	條	患	者	延	数	3, 698	3, 636	3,890	3,800	3, 679	4, 085	22, 788
病	院	1	日平均	匀患る	者数	119	121	125	123	131	132	125
合	,	患	者	延	数	20, 534	20, 154	21, 031	20,770	19,630	21,673	123, 792
計	-	1	日平均	匀患る	者数	662	672	678	670	701	699	680

(2) 決算見込み 平成22年度の決算見込みは、次のとおりです。

入

支

出

的

収

支

他会計からの助成金

病院事業資本的支出

建設改良費

企業債償還金

企業債償還金積立金

区 分 科 現計予算額(A) 決算見込額 (B) (B)/(A)%目 収 病院事業収益 20, 343, 160 20, 687, 453 101.7 収 収 益 17, 413, 876 17, 776, 761 102.1 外収 2, 644, 469 2,631,031 益 99.5 益 入 看護師養成事業収益 284, 815 279,661 98.2 的 支 病院事業費用 20, 343, 160 19, 213, 966 94.4 収 用 19, 771, 771 18, 699, 247 94.6医 支 費 用 284, 402 248,086 87.2 出 看護師養成事業費用 286, 987 266, 633 92.9 収 病院事業資本的収入 2, 945, 700 2, 563, 654 87.0 資 企 業 債 2, 706, 400 2, 327, 400 86.0 庫支出金 0 本

(単位:千円)

資本的収入の決算見込額が、資本的支出の決算見込額に不足する額895,241千円は、消費税及び地 方消費税資本的収支調整額1,115千円及び損益勘定留保資金894,126千円で補てんします。

239, 300

3, 836, 280

1, 444, 664

2,006,167

385, 449

236, 254

3, 458, 895

1,067,280

2,006,166

385, 449

98.7

90.2

73.9

100.0

100.0

# 第2 経理の状況

平成22年度における経理の状況は、次の残高試算表のとおりです。

# 残 高 試 算 表

(平成23年3月31日)

借方残高		貸方残高
18, 959, 091	( 資産の部)	
15, 332, 074	固定資産	
14, 864, 223	有形固定資産	
5, 627	無形固定資産	
462, 224		
3, 627, 017	流動資産	
265, 323	現金預金	
3, 226, 050	未収金	
135, 644	貯蔵品	
	(負債の部)	3, 699, 894
	固定負債	625, 000
	引当金	625, 000
	流動負債	3, 074, 894
	一時借入金	920, 000
	未払金	2, 090, 342
	その他流動負債	64, 552
	( 資本の部 )	13, 785, 794
	資本金	14, 589, 119
	自己資本金	7, 090, 032
	借入資本金	7, 499, 087
803, 325	剰余金	
	資本剰余金	1, 987, 887
2, 791, 212	利益剰余金	
	( 収益の部 )	20, 668, 456
	病院事業収益	20, 668, 456
	医業収益	17, 761, 217
	医業外収益	2, 627, 619
	看護師養成事業収益	279, 620
19, 195, 053	( 費用の部 )	
19, 195, 053	病院事業費用	
18, 347, 711	医業費用	
582, 101	医業外費用	
265, 241	看護師養成事業費用	
38, 154, 144	合 計	38, 154, 144

#### 第3 平成23年度予算の概要及び経営方針

1 平成23年度奈良県病院事業費特別会計の概要は、次のとおりです。

(単位:千円)

区分	科目	予 算 額	科目	予 算 額		
収	病院事業収益	21, 260, 313	病院事業費用	21, 260, 313		
益的	医 業 収 益	18, 863, 626	医 業 費 用	20, 740, 728		
収	医 業 外 収 益	2, 091, 369	医 業 外 費 用	214, 267		
支	看護師養成事業収益	305, 318	看護師養成事業費用	305, 318		
資	病院事業資本的収入	1, 244, 900	病院事業資本的支出	2, 336, 687		
本	企 業 債	1, 244, 900	建設改良費	1, 217, 000		
的			企業債償還金	773, 386		
収			企業債償還金積立金	346, 301		
支	支 平成22年度末の欠損金により、補てん財源が不足するため、資本的収入及び支出については、収支不均衡予算とする。年度末に資金不足が生じた際には、一時借入金で対応する。					
	一時借入金限度額5,500,000千円他会計からの負担金及び補助金2,674,000千円たな卸資産購入限度額5,478,103千円					

#### 2 経営方針

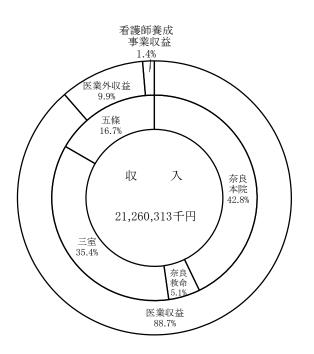
病院事業は、県民医療の普及向上と公共の福祉の増進を図るため、施設・設備等の充実に努め、 高度の診断能力の維持と患者サービスに万全を期するよう運営しており、各病院とも地域医療の基 幹病院として県民の信頼を得るよう努めています。

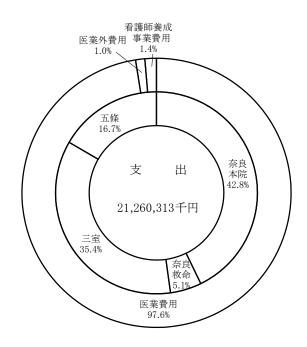
本年度は、奈良病院及び三室病院において、「オーダリング基幹システム」の導入により、病院機能の充実を図ります。そして五條病院では、「生化学分析装置」の更新により、検査・診断機能の充実を図り患者サービスの向上に努めます。

なお、近年の病院事業を取り巻く環境が厳しさを増すなかではありますが、経営改善を図りながら効率的かつ透明性の高い病院運営に努めます。

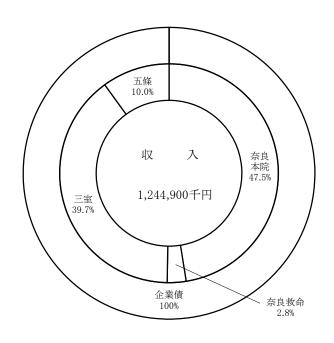
# 平成23年度奈良県病院事業費特別会計予算の状況

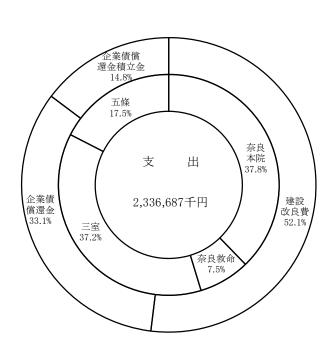
# 収益的収支





# 資本的収支





# IV 県債及び一時借入金の状況

#### 1 県債の状況

県債は、文教施設、福祉施設、土木施設等の公共施設の建設や災害復旧事業など一時に多額の経費を要し、その事業効果が後年度におよびかつ後年度に県民の応分の負担を求めることが適当な事業の財源に充てるために、県議会の議決や国との協議を経て借り入れ、一定の割合で償還していく長期の借入金です。

県では、これらの事業完成後における効果、国の地方債計画、また後年度において財源措置が 行われる有利な地方債の活用など、将来の財源負担を十分考慮しながら県債を活用しています。

なお、平成13年度からは、国の方針により地方交付税の振替である臨時財政対策債を発行しています。臨時財政対策債は、償還時に100%地方交付税で措置されます。

県債の現在高の状況は、第12表のとおりです。

平成21年度末における一般会計の県債の現在高は、1兆133億7,246万4千円でしたが、平成22年度中に公共施設の建設、災害復旧費等の財源や臨時財政対策債として借り入れを行い、一方、既に借り入れている県債の償還を行った結果、平成22年度末の県債の現在高は、1兆449億5,002万1千円となります。

また、特別会計の21年度末の県債の現在高は、718億2,279万6千円でしたが、22年度末では、698億5,834万6千円となります。

なお、平成23年度には、第13表のとおり一般会計で735億390万円、特別会計で262億5,890万円 の県債の借り入れを予定しています。

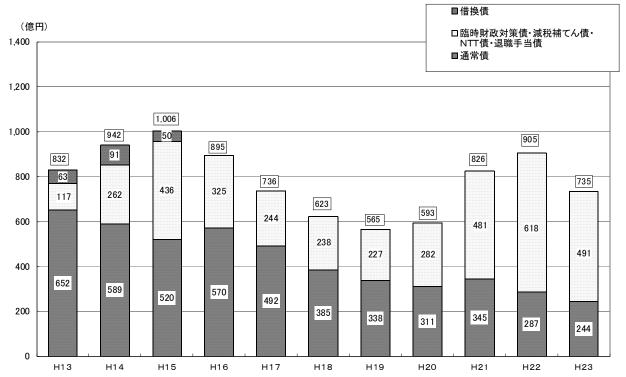
# 第12表 事業別県債の現在高の状況

					(単位:千円)
	区 分		平成22年度中		
				元金償還金	現在高見込み
	1 普 通 債	610, 178, 581	20, 574, 800	41, 311, 784	589, 441, 597
	(1) 土 木	467, 329, 328	16, 479, 700	31, 222, 213	452, 586, 815
	(2) 農 林 水 産	52, 201, 509	1, 483, 800	3, 430, 646	50, 254, 663
	(3) 教 育	30, 397, 728	278, 300	2, 750, 440	27, 925, 588
_	(4) 公 営 住 宅	7, 900, 324	1, 041, 800	569, 857	8, 372, 267
	(5) 庁 舎	7, 397, 904	96, 500	403, 167	7, 091, 237
	(6) その他	44, 951, 788	1, 194, 700	2, 935, 461	43, 211, 027
般	2 災 害 復 旧 債	3, 059, 693	434, 300	559, 446	2, 934, 547
州又	3 そ の 他	400, 134, 190	69, 511, 600	17, 071, 913	452, 573, 877
	(1) 直 轄 事 業 債	110, 738, 791	7, 342, 700	8, 756, 733	109, 324, 758
会	(2) 交 付 公 債	36, 720	-	12, 143	24, 577
五	(3) 上 水 道 事 業 債	31, 549, 456	360, 900	1, 501, 509	30, 408, 847
	(4) 下 水 道 事 業 債	179, 755	_	12, 951	166, 804
計	(5) 退 職 手 当 債	13, 550, 000	1, 808, 000	88,000	15, 270, 000
口口	(6) 減税補てん債	21, 359, 465	_	984, 792	20, 374, 673
	(7) 臨時税収補てん債	2, 599, 494	_	236, 139	2, 363, 355
	(8) 臨時財政対策債	220, 120, 509	60, 000, 000	5, 479, 646	274, 640, 863
	(9) 減 収 補 て ん 債	-	_	_	-
	合 計	1, 013, 372, 464	90, 520, 700	58, 943, 143	1, 044, 950, 021
	医科大学整備事業債	3, 160, 424	-	193, 661	2, 966, 763
	医関 附属病院整備事業債	30, 850, 703	-	1, 851, 916	28, 998, 787
特	大経 医科大学貸付事業債 学費	2, 020, 000	1, 291, 000	-	3, 311, 000
	小計	36, 031, 127	1, 291, 000	2, 045, 577	35, 276, 550
別	母 子 福 祉 資 金 債	286, 331	28, 800	-	315, 131
	寡婦福祉資金債	75, 214	-	-	75, 214
会	農業改良資金債	93, 082	30, 000	2, 884	120, 198
	中小企業高度化資金債	3, 184, 765	-	81, 196	3, 103, 569
計	流域下水道事業債	31, 882, 052	810, 900	1, 948, 959	30, 743, 993
	市場事業債	270, 225	-	46, 534	223, 691
	合 計	71, 822, 796	2, 160, 700	4, 125, 150	69, 858, 346
;	総計	1, 085, 195, 260	92, 681, 400	63, 068, 293	1, 114, 808, 367

<sup>(</sup>注) 本表には、企業会計(水道、病院)分は含まれません。

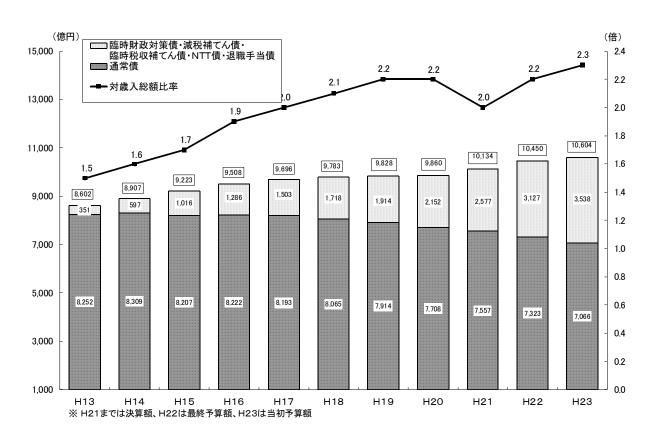
区 分	一般会計	特 別 会 計
1 普 通 債	23, 416, 400	
(1) 一般公共事業債	16, 848, 000	
(2) 一般単独事業債	6, 319, 600	
(3) 公営住宅建設事業債	248, 800	
2 災害復旧事業債	401, 900	
3 準 公 営 企 業 債	29,700	792, 800
(1) 下 水 道 事 業 債		792, 800
(2) 公有林整備事業債	29, 700	
4 公 営 企 業 債	555, 900	1, 596, 700
(1) 上 水 道 事 業 債	555, 900	
(2) 病 院 事 業 債		1, 596, 700
(3) 市 場 事 業 債		
5 退 職 手 当 債	3, 100, 000	
6 臨時財政対策債	46, 000, 000	
7 その他の特別債		110, 000
(1) 農業改良資金債		56, 000
(2) 中小企業高度化資金債		
(3) 母子寡婦福祉資金債		54, 000
8 借 換 債		23, 759, 400
計	73, 503, 900	26, 258, 900

#### 県債発行額の推移(一般会計)

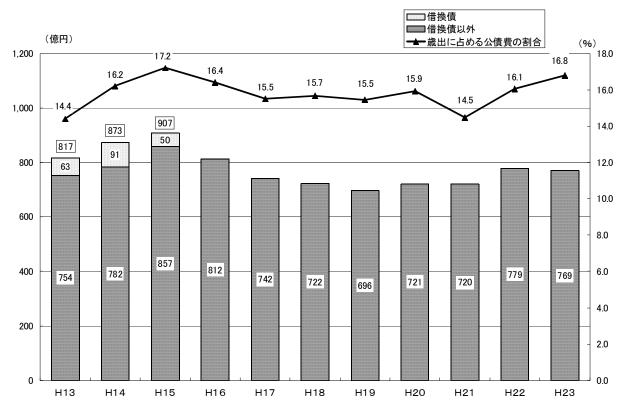


- ※ 1 H21までは決算額、H22は最終予算額、H23は当初予算額。2 H13からH15までの決算額は、借換債を含めた額。H16以降は、借換債を含まない額。3 H16以降の借換債は、公債管理特別会計に計上。

### 県債残高の推移 (一般会計)



# 公債費の推移 (一般会計)



- ※ 1 H21までは決算額、H22は最終予算額、H23は当初予算額。2 H13からH15までの決算額は、借換債を含めた額。H16以降は、借換債を含まない額。3 H16以降の借換債に係る公債費は、公債管理特別会計に計上。

# 2 一時借入金の状況

一時借入金は、年間の予算執行にあたり歳計現金が一時的に不足する場合に、短期の借入れを 行うものであり、平成22年10月から平成23年3月までの間における各月末の一時借入金の現在高 は、第14表のとおりです。

なお、各月における収入・支出の的確な把握を行い、効率的な資金管理・運用に努めています。

# 第14表 一時借入金現在高の状況

(単位:百万円)

区	分	一般 会 計
平成22年10	月末日	0
平成22年11	月末日	0
平成22年12	月末日	0
平成23年1	月末日	0
平成23年2	月末日	0
平成23年3	月末日	0